

魔法のプロジェクトに参加して



大分県立別府支援学校鶴見校

渡辺 耕平

大分県立別府支援学校鶴見校

別府発達医療センターに入所している児童生徒を
対象にした肢体不自由特別支援学校

○2015年度 「魔法の宿題プロジェクト」

大分県特別支援学校情報端末モデル校事業として参加

○2016年度 「魔法の種プロジェクト」 に応募

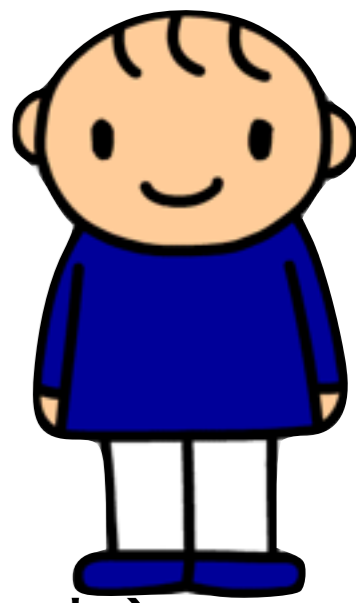
昨年度の実践

「魔法の宿題プロジェクト」

児童の「わかった」「できた」

という見通しをサポート

Sさんについて



- 小学部6年生（男児） 当時
- 肢体不自由、知的障がい、聴覚障がい（中度～軽度）
- 生活経験が少ない
- III課程（知的障がいを対象とした教育課程）
- 手指の欠損があり、消しゴムを上手く使えず、間違うことを嫌がる。本のページをめくることも難しい。
- ひらがなを1文字ずつ読むが、「おんがく」「せいたん」など塊で覚えている。

具体的な実態

日常の学校生活の中で



○朝の支度や係活動で



- 文字カードでは、意識が向きにくく、自分から取りかかれない
- 何をどの順番でしてよいのかわからず、パニックになり一つ一つ教師に指示を求める

○登下校時

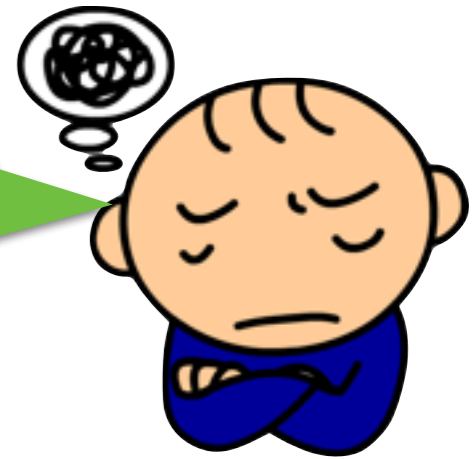


- 「今日なににする？」 「いつ行くの」と予定をいつも気にして頻繁に聞く

具体的な実態

校外学習やはじめての場面では

おでかけや行事は
とてもたのしみだけど



○生単の事前学習では



●「いつ」「どこに」「だれと」「なにをしに」等を
イメージすることが苦手

○実際の校外学習の場面では



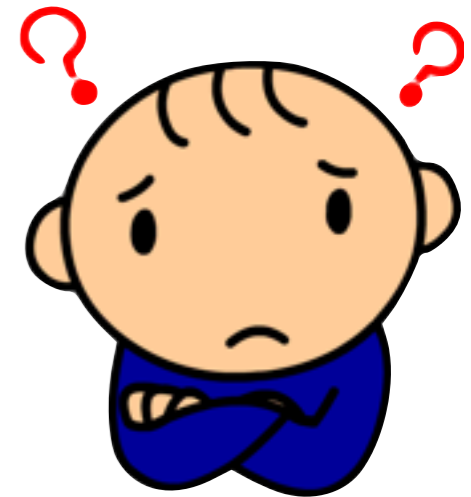
●目的地まで歩いていく道は、どちらに行ってもよいか戸惑う
●初めての場所では「怖いよ」と不安になる

Sさんの困りは？

日常の学校生活

校外学習など初めての場面

見通しを持ちにくい



活動に自信がもてない 依存的になっている

タブレットの活用で見通しを持つ
ことをサポートできるのでは



① 日常の学校生活の活動

朝の支度・係活動のサポート



あさのしたくのタブを作成し、項目を打ち込み、1つずつ順番にチェックしていく

何をしないといけな
いか、何が済んでい
るか、あとどれくら
いあるかがわかる

「リマインダー」で係活動の「すること」を順番に確認

① 日常の学校生活の活動

1日、週単位の日程確認をサポート



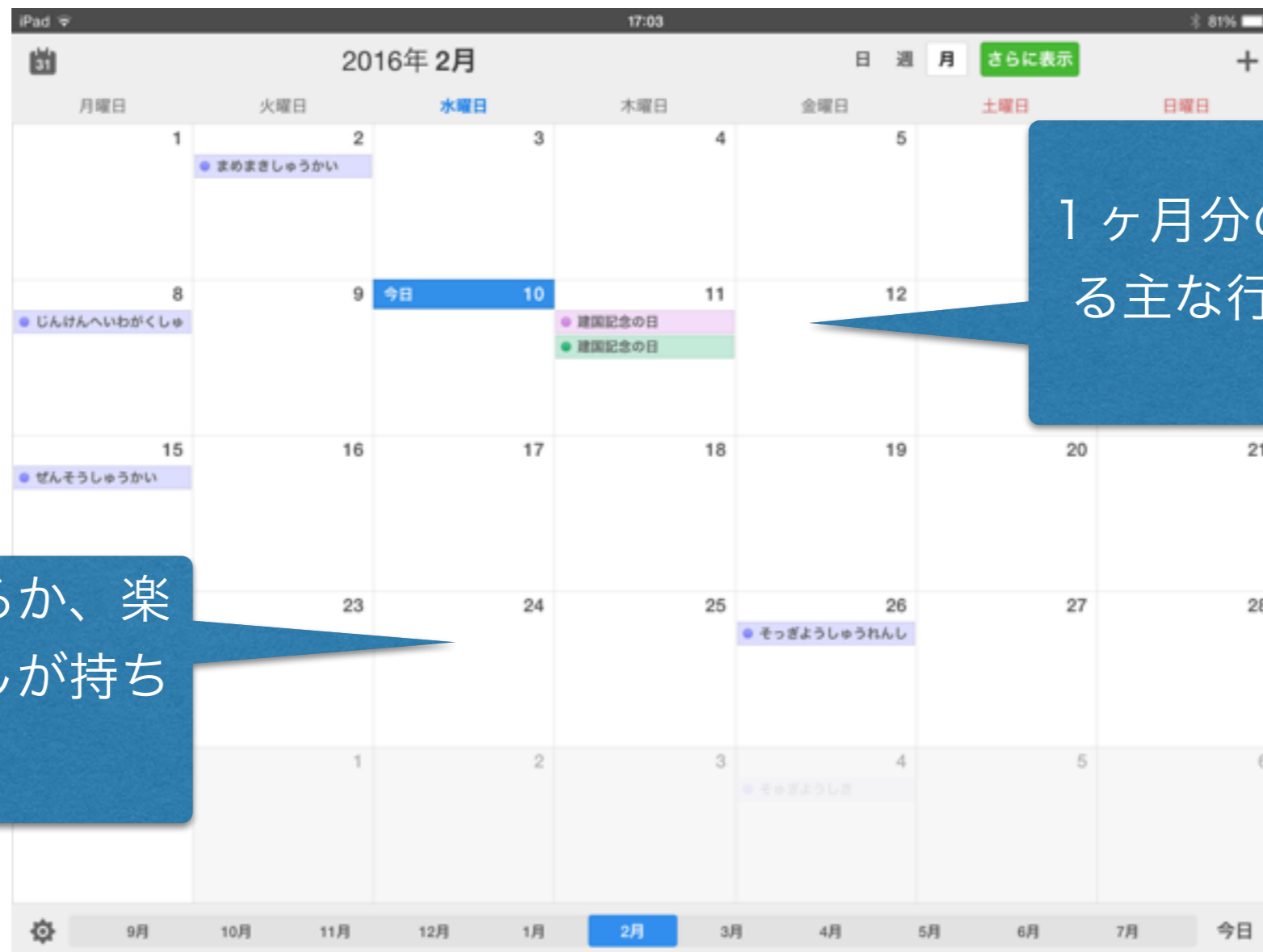
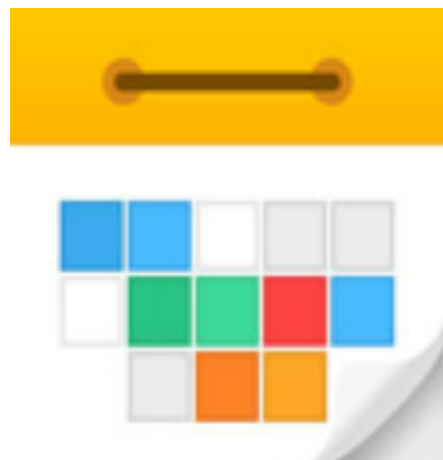
	11月30日	12月1日	12月2日	12月3日	12月4日
	月	火	水	木	金
1 8:50~9:35	みんなのかい	みんなのかい	みんなのかい	にっせい	
2 9:40~10:25	クラブ	じりつかつどう	たいいく	じんけんへいわ	
3 10:30~11:15	おんがく	さんすう	せいたん	リハ	
4 11:20~12:05	さんすう	こくご	かえる	さんすう	い
5 13:00~13:45	あそび	えいご (ALT)	こくご	あそび	せいたん
6 13:50~14:35	こくご	あそび			そうじ

1週間ごとに日課表を表にし、ひらがなで打ち込んだものを共有した。リハビリの変更や日課の変更は朝のうちに更新する

「GoogleDrive」で教師のPCと共有し、
日課表を確認

① 日常の学校生活の活動

月単位での行事確認をサポート



1ヶ月分の児童に関係のある主な行事を打ち込む、

どんな行事があるか、楽しみにし、見通しが持ちやすい

「Calendars」で打ち込みスケジュールを確認

活用のポイント

- 日常の学校生活での言葉は文字とマッチングできていることも多い



文字を中心に

- 「GoogleDrive」や「Calendars」はiPhoneと共有することでいつでもどこでも確認できるようにした

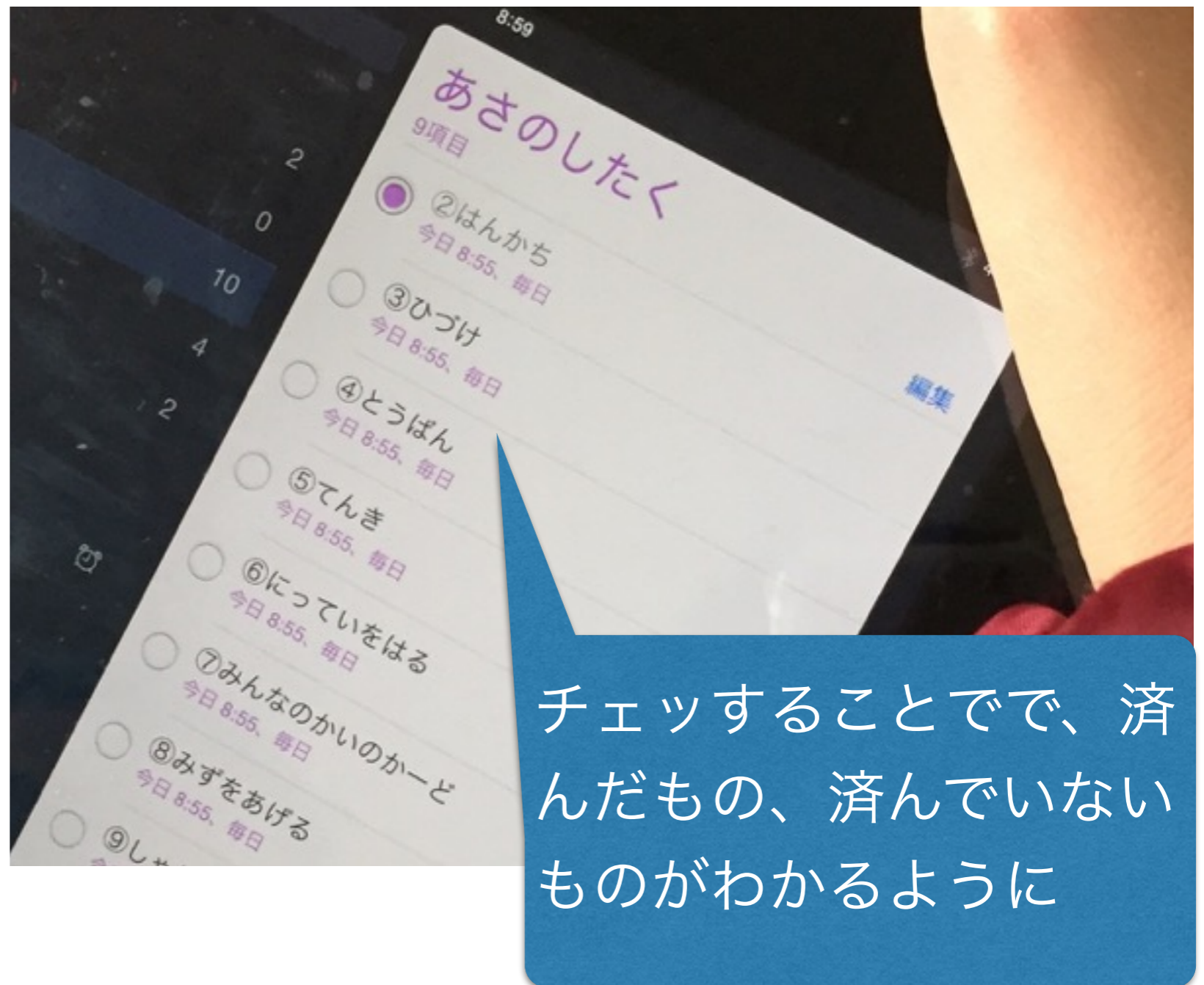


共有



① 日常の学校生活の活動

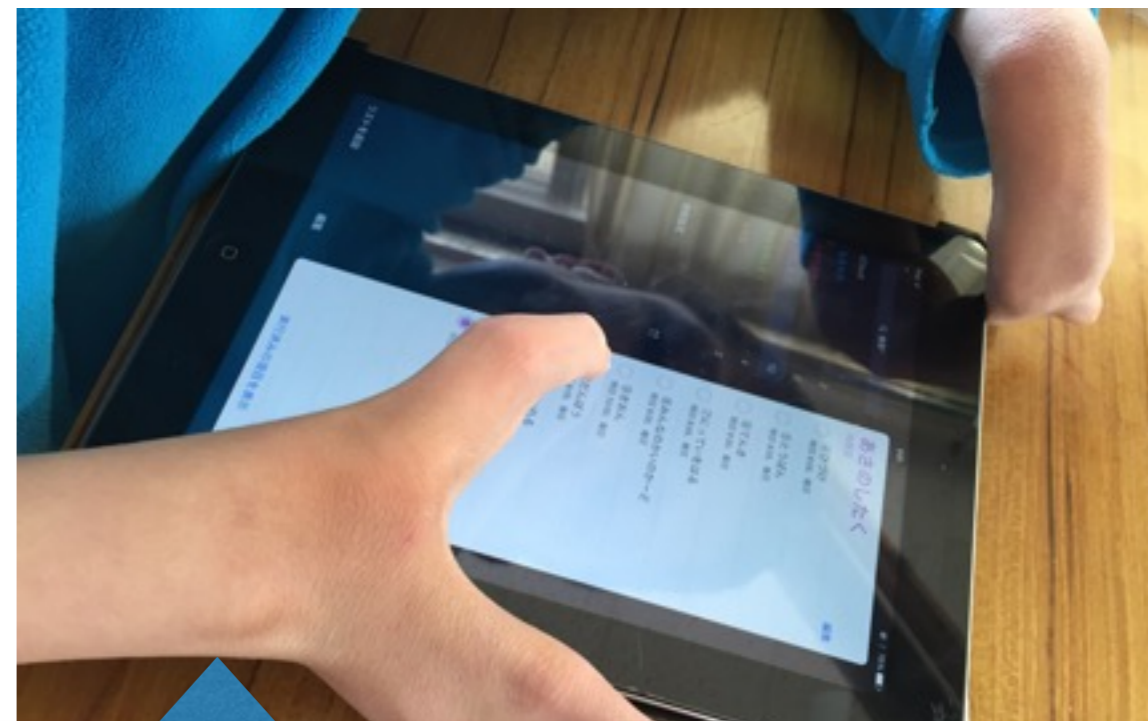
朝の支度・係活動では



① 日常の学校生活の活動

朝の支度・係活動では

済んだものが一つ一つ消える
ことで活動に意欲を持つ

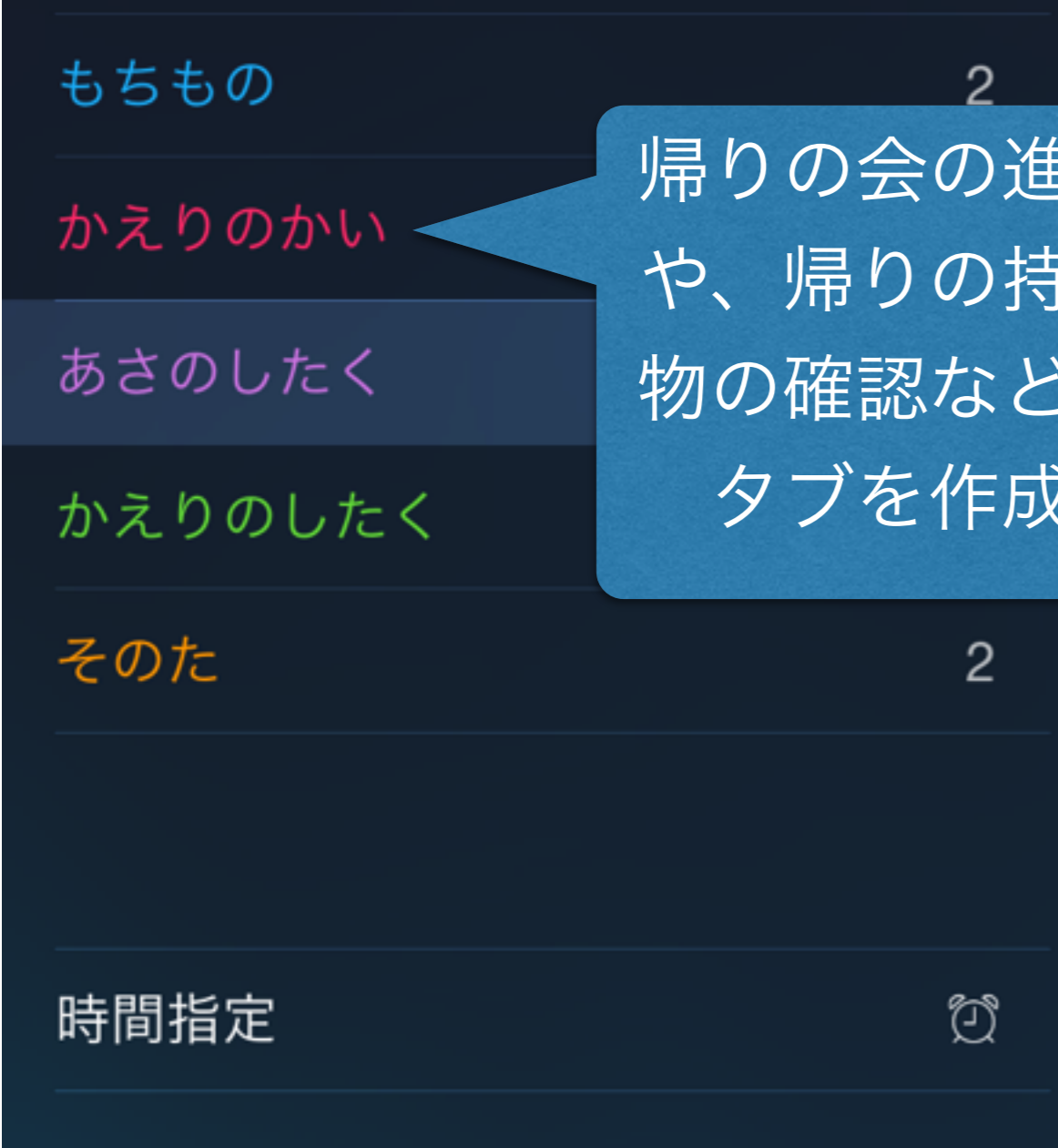


自分から一つ一つ読んで、確認するようになる。「できました」と嬉しそうに教えてくれる

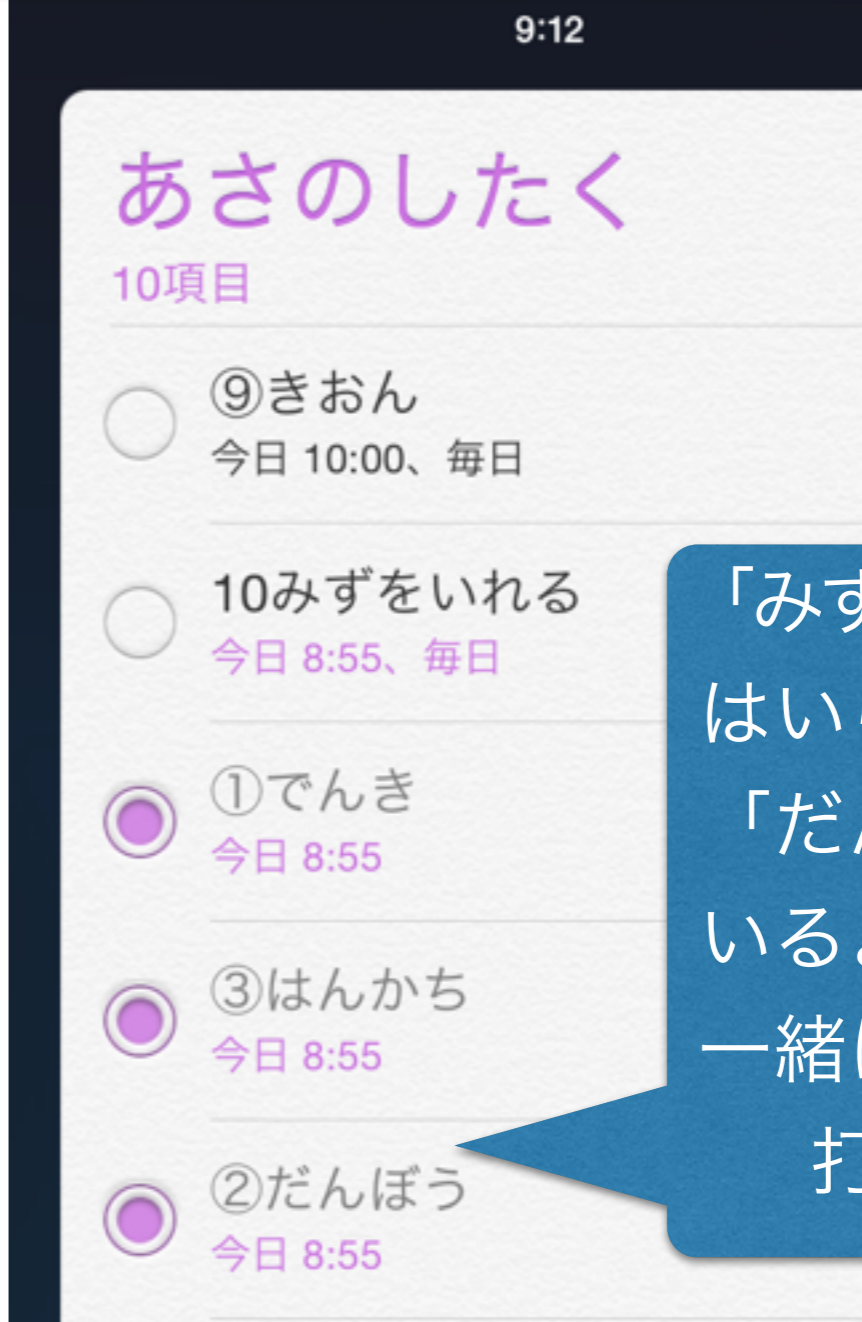
一人で朝の支度・係活動ができるように

① 日常の学校生活の活動

活用の広がり



帰りの会の進行
や、帰りの持ち
物の確認など、
タブを作成



「みずをあげる」
はいらないよ、
「だんぼう」が
いるよと教師と
一緒に確認し、
打ち込む

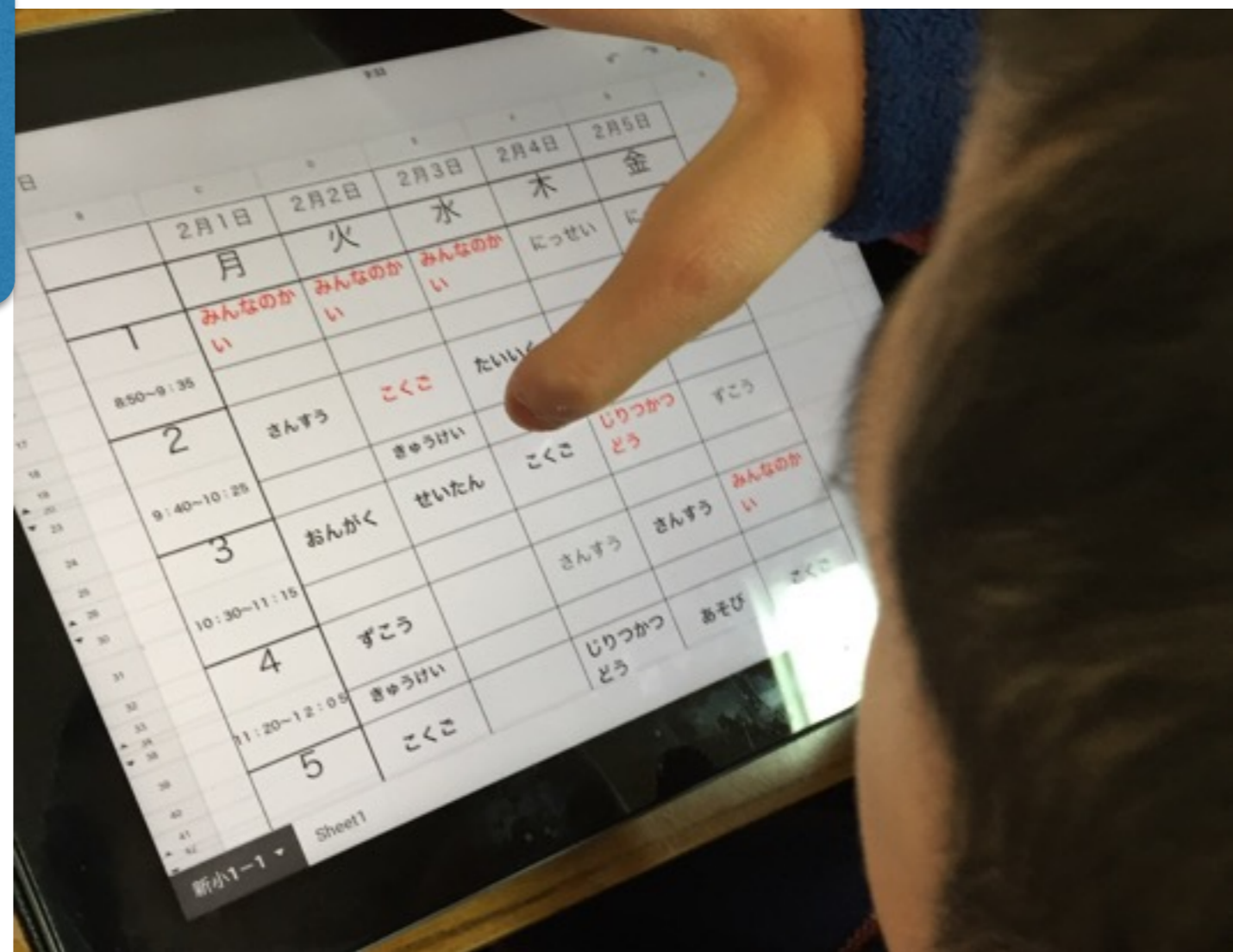
他の場面でも活用できる

項目の追加・削除もできる

① 日常の学校生活の活動

日課表の確認では

共有することで、
iPhoneでも今日の日課
表を確認する



登校時にも日課表が確認できるように

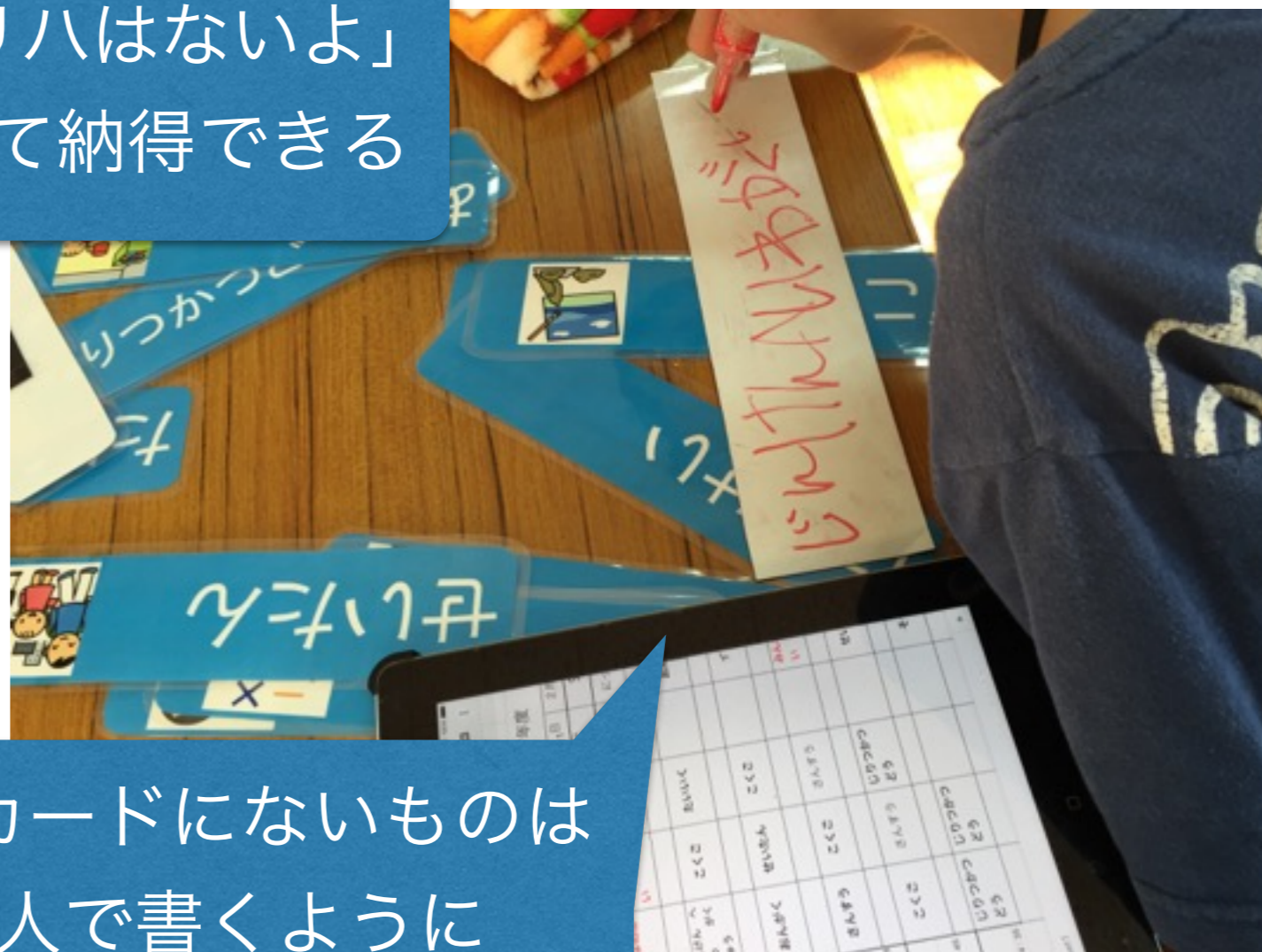
① 日常の学校生活の活動

日課表の確認では

「今日は、リハはないよ」
と画面を見て納得できる



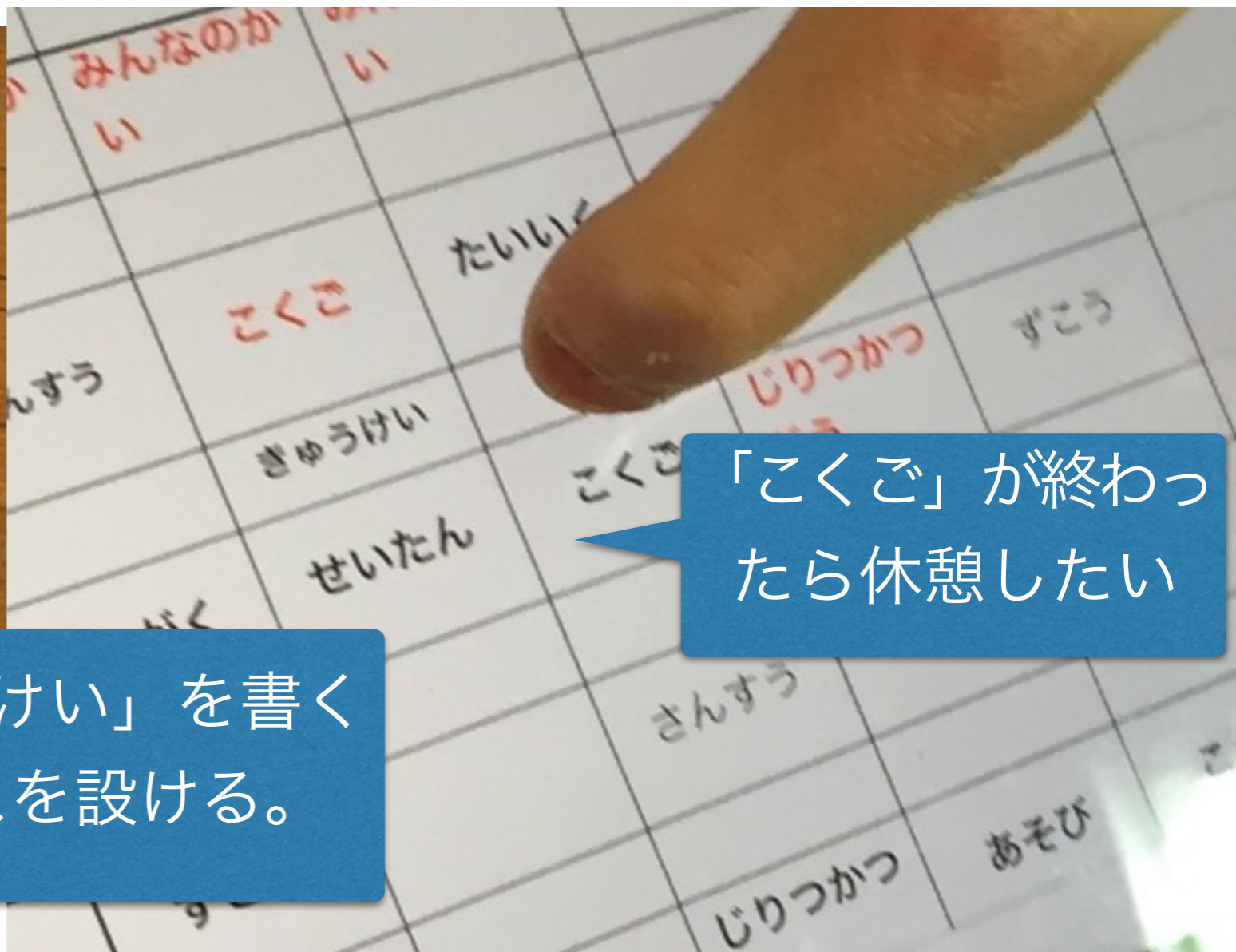
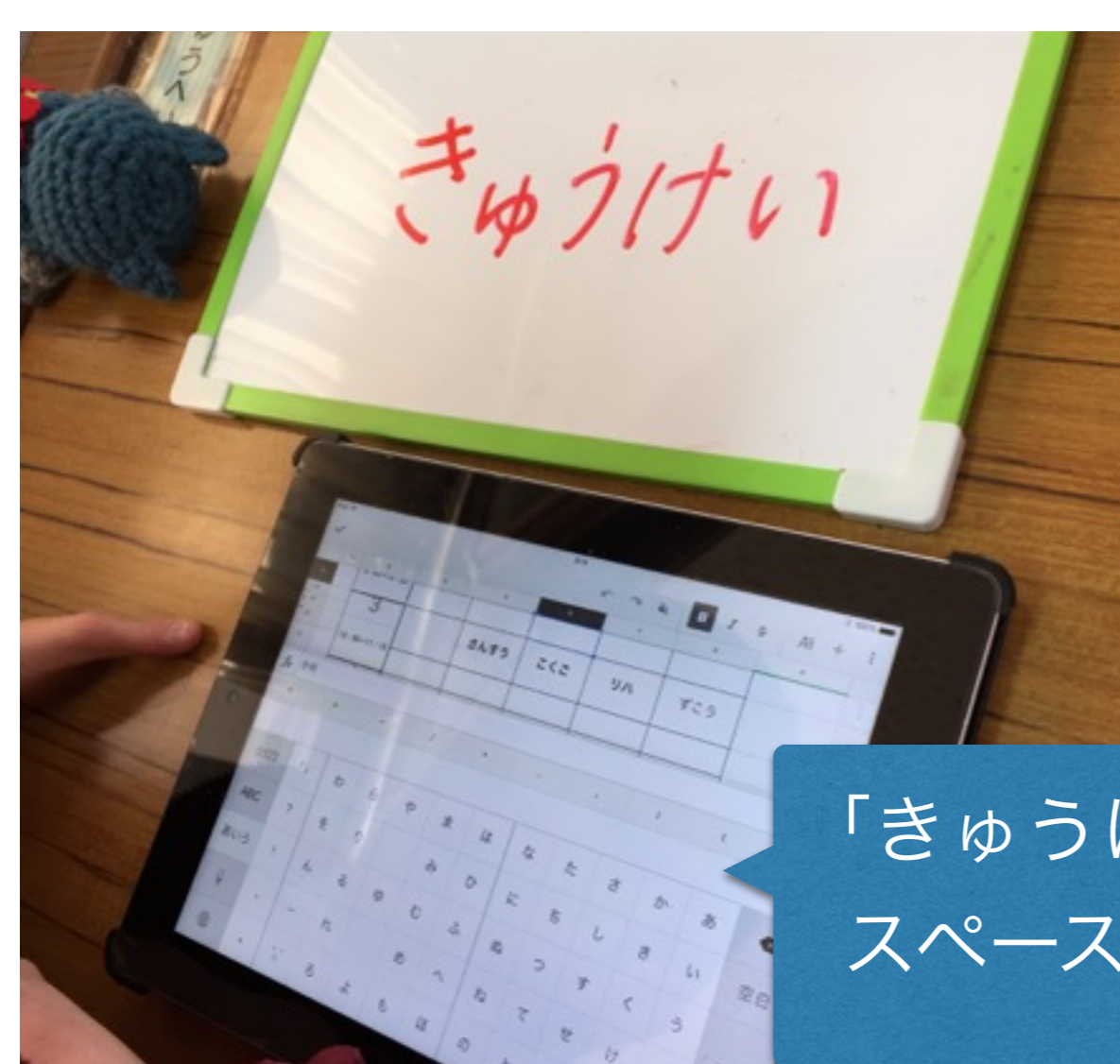
文字カードにないものは
1人で書くように



教室では画面を見て、日程を確認し、
係活動を積極的に取り組むように

① 日常の学校生活の活動

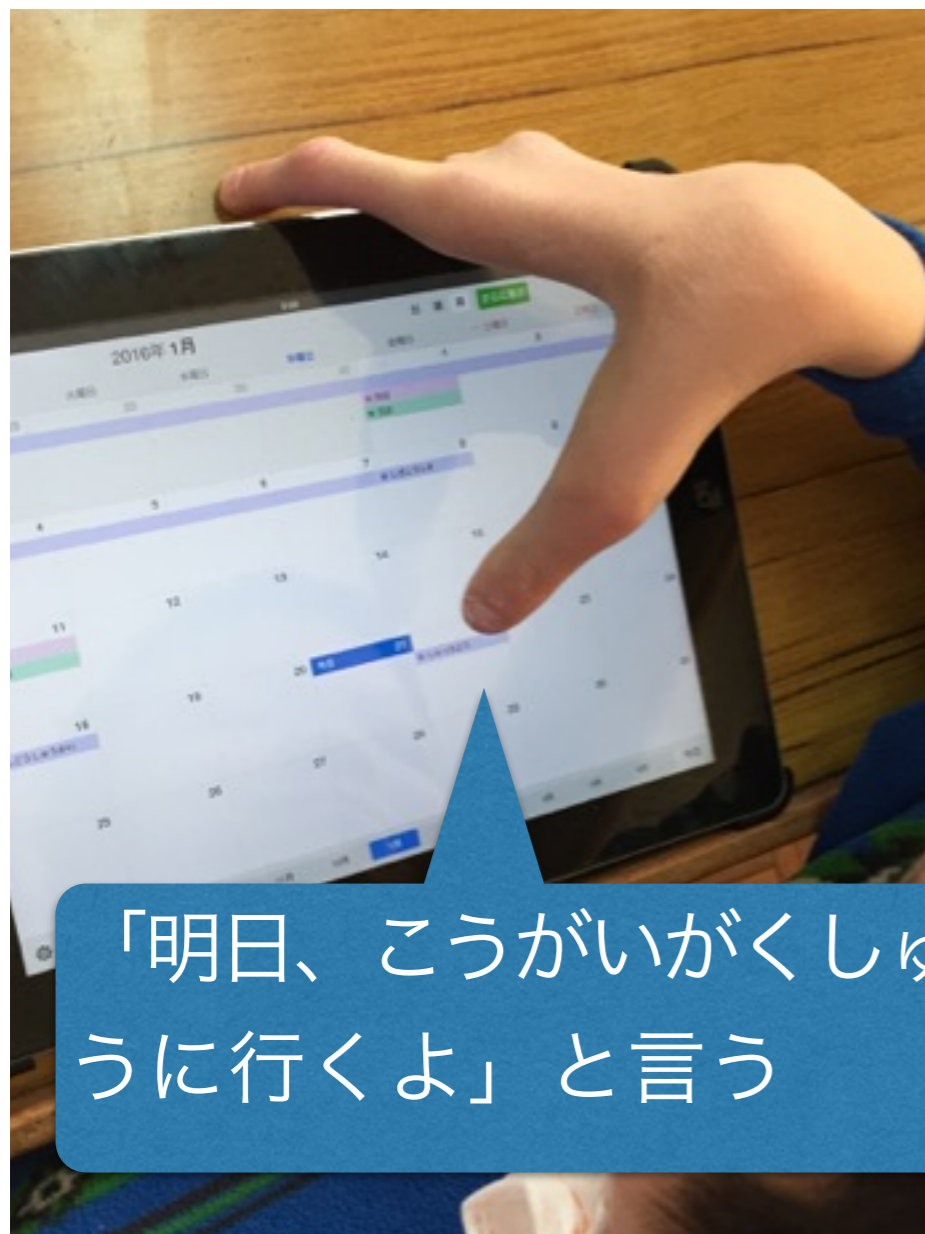
自分でスケジュールを立てる



朝の段階で自分から「きゅうけい」を書くようになる
楽しみを持って活動に取り組むように

① 日常の学校生活の活動

月単位での予定の確認では



「明日、こうがいがくしゅうに行くよ」と言う



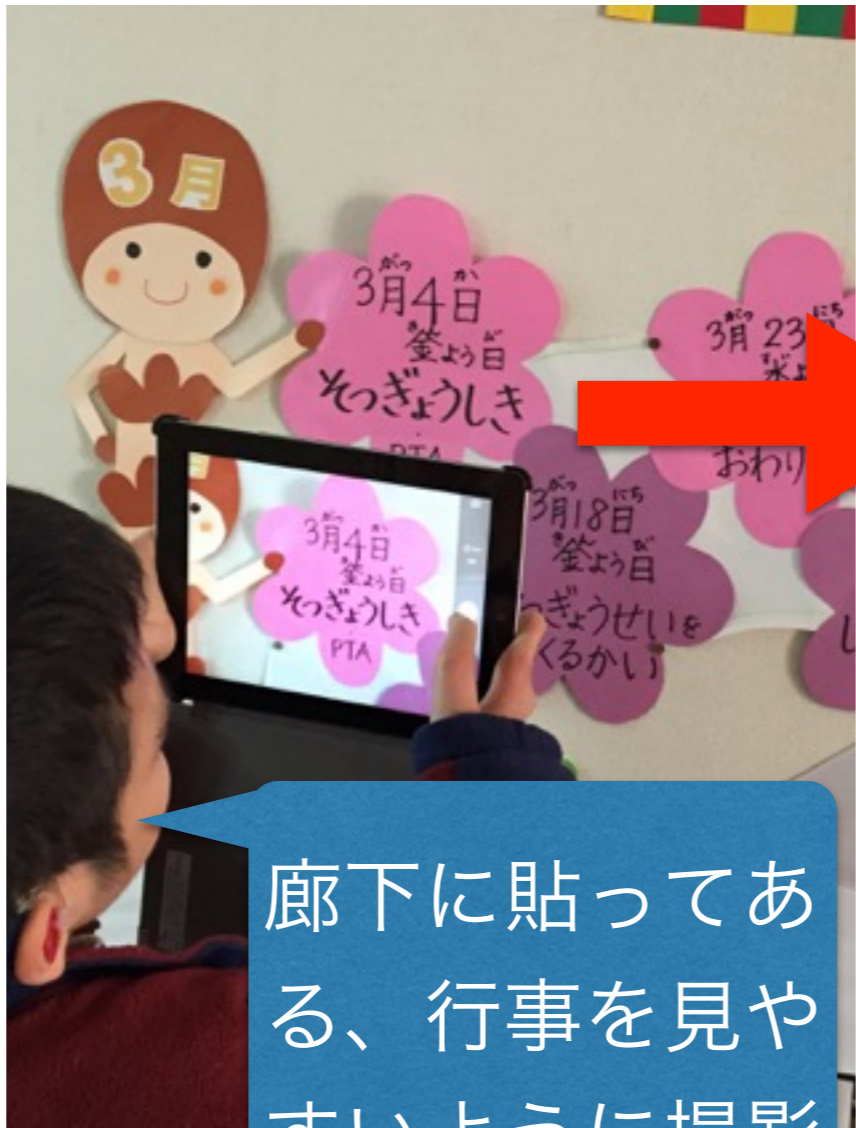
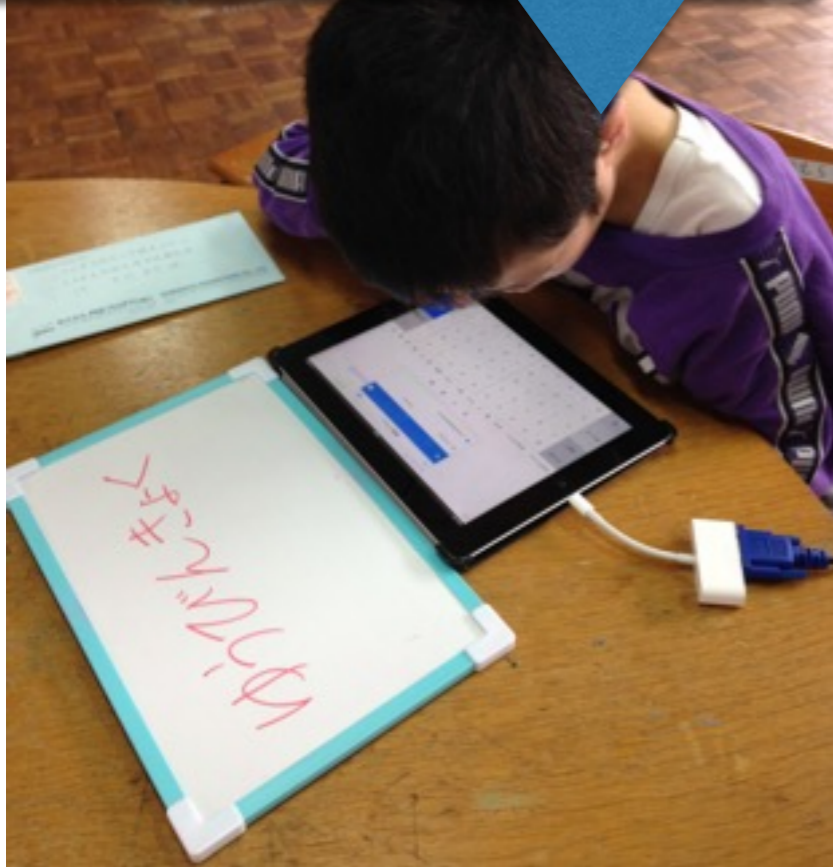
通知が表示される
今日の行事がわかる

カレンダーに打ち込むことでより長いスパンでも行事を
楽しみにするように

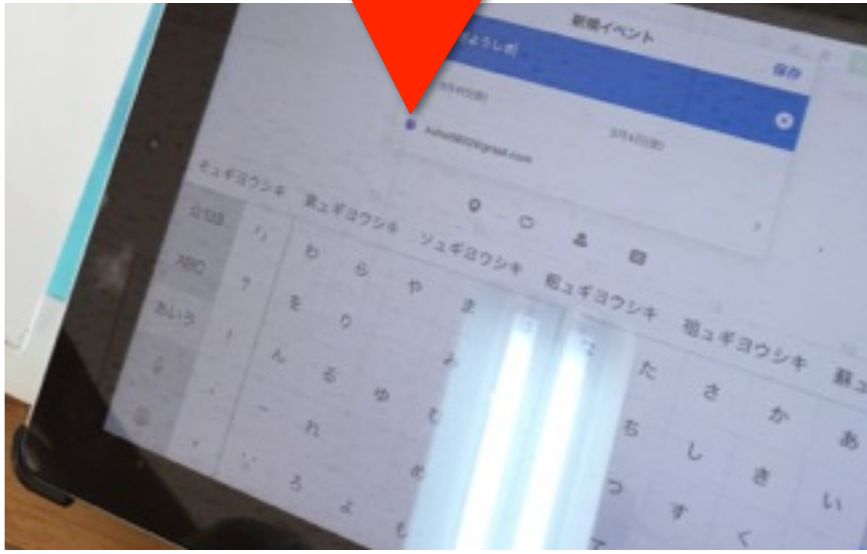
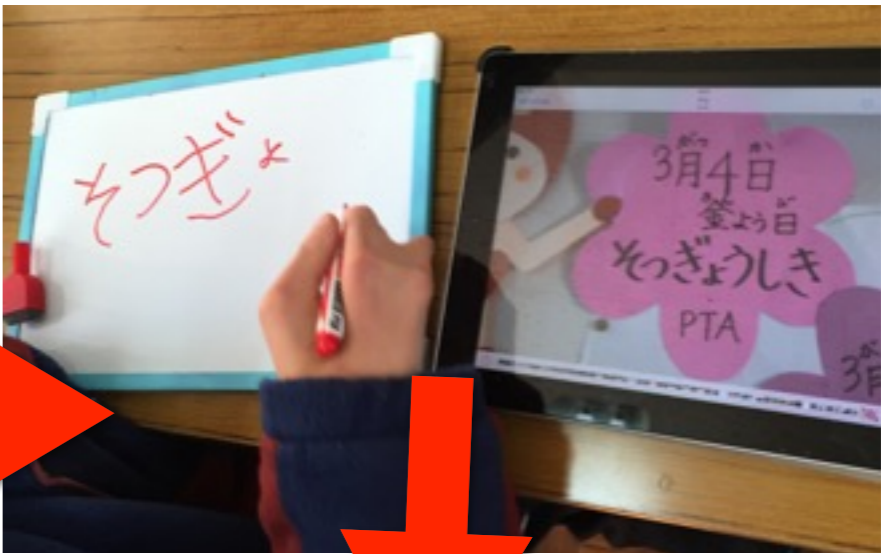
① 日常の学校生活の活動

自分でスケジュールの追加

当初は教師が書いたものを見て書く。



廊下に貼ってある、行事を見やすいように撮影



写真を見てホワイトボードに書いて、iPadに打ち込む
(自分で考えた方法) ことで行事に意識が向くように

②校外学習や行事の学習など、新たな場面での活動

行く日時や場所などの確認するサポート



「MateMojiNote」で「5W1H」を手元で確認

②校外学習や行事の学習など、新たな場面での活動

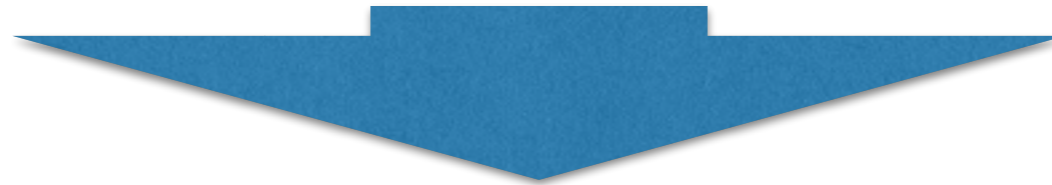
歩いていく道順を確認するサポート



「StreetWatcher」で動かして事前に確認

活用のポイント

○初めての場所や外での活動は文字だけではイメージしにくい



写真で提示

操作したり書き込みできる

○「MateMojiNote」はiPhoneでも共有することでいつでもどこでも確認可能に！！



共有



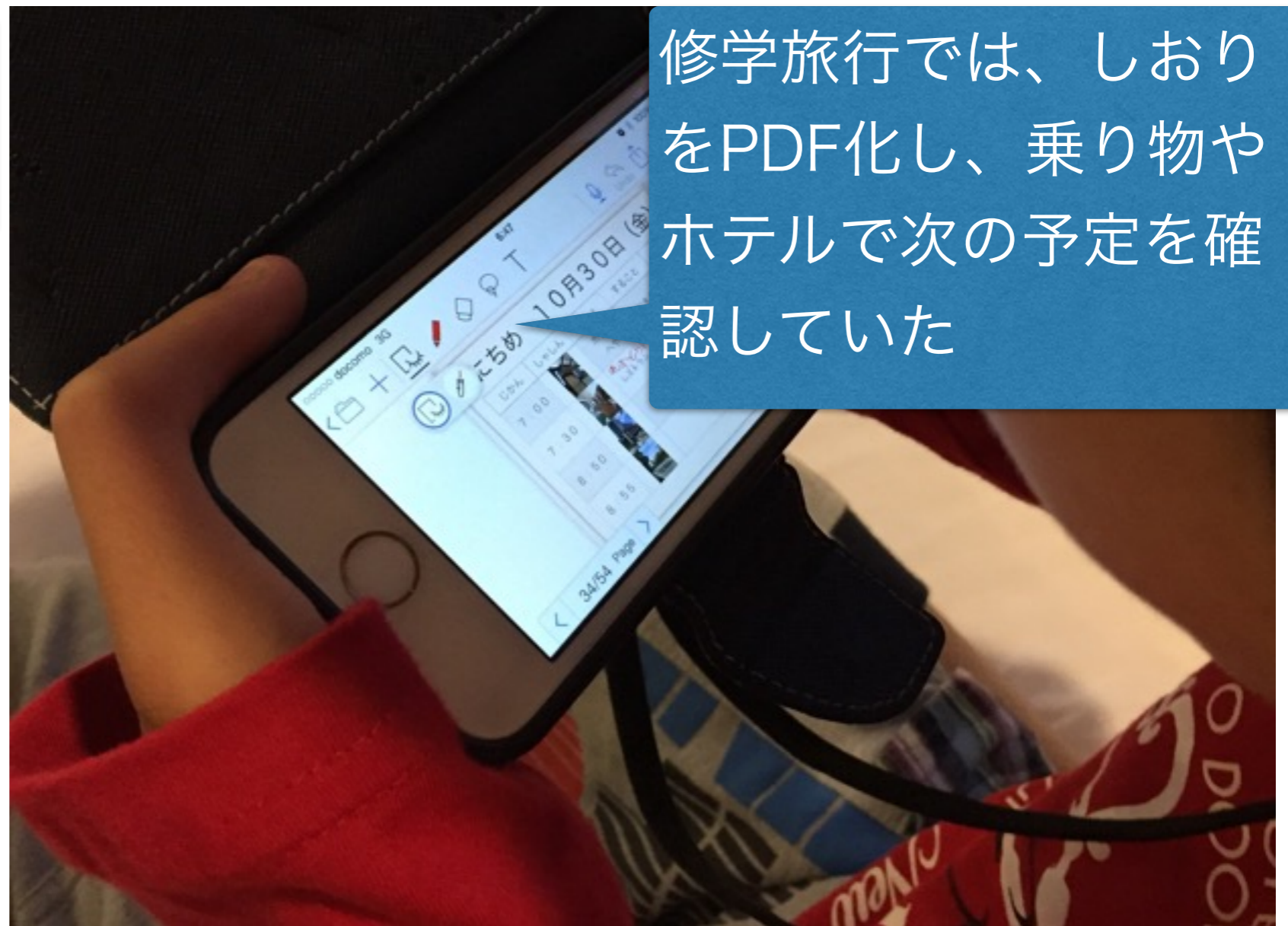
②校外学習や行事の学習など、新たな場面での活動

行く日時や場所などの確認するサポート

教師が提示したスライドと同じものを手元で確認



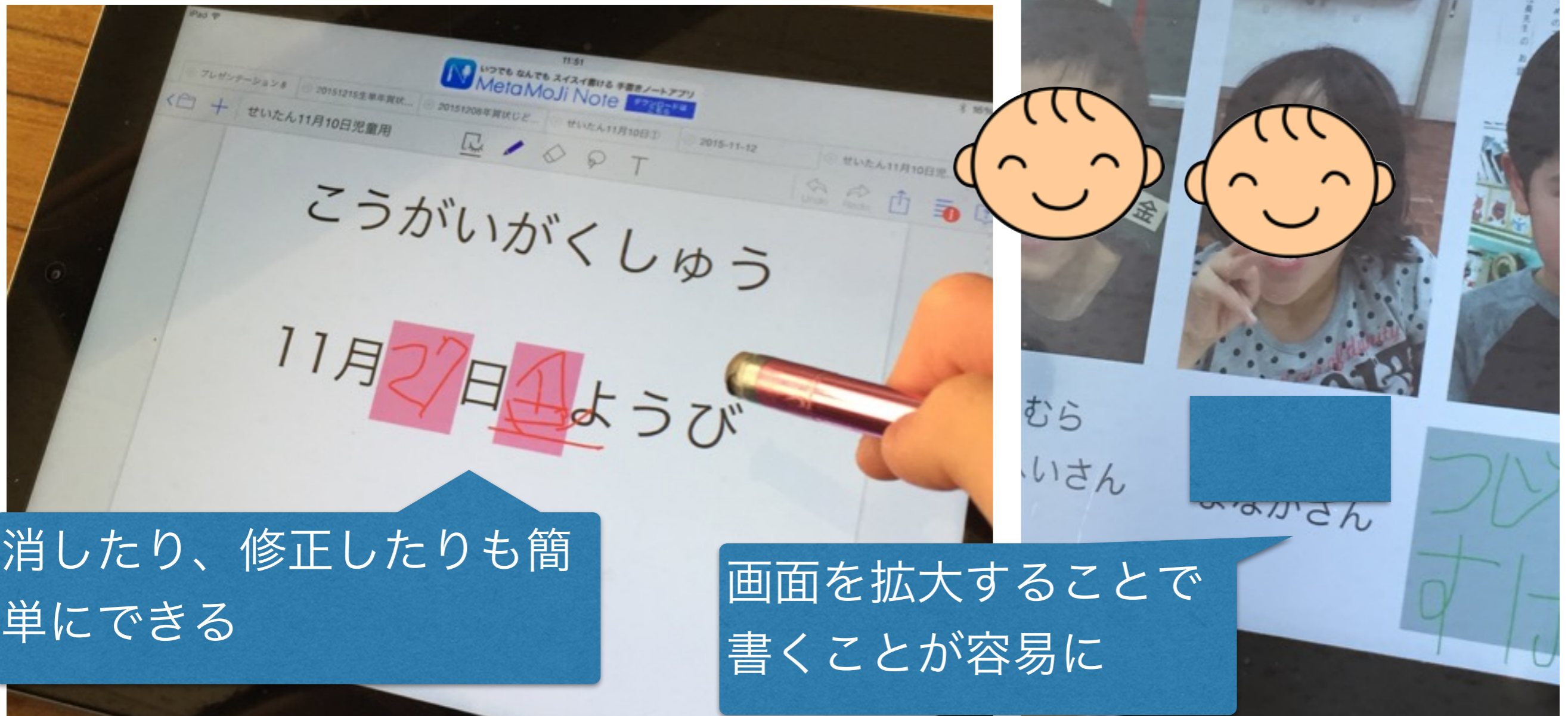
修学旅行では、しおりをPDF化し、乗り物やホテルで次の予定を確認していた



事前学習では、めくったり、拡大したりして繰り返し確認
校外でも「5W1H」や日程を確認できる

②校外学習や行事の学習など、新たな場面での活動

自分で書き込む



必要なキーワードを

自分で書き込むことでより理解しやすく

②校外学習や行事の学習など、新たな場面での活動

歩いていく道順を事前に確認するサポート



つきましたよー！！

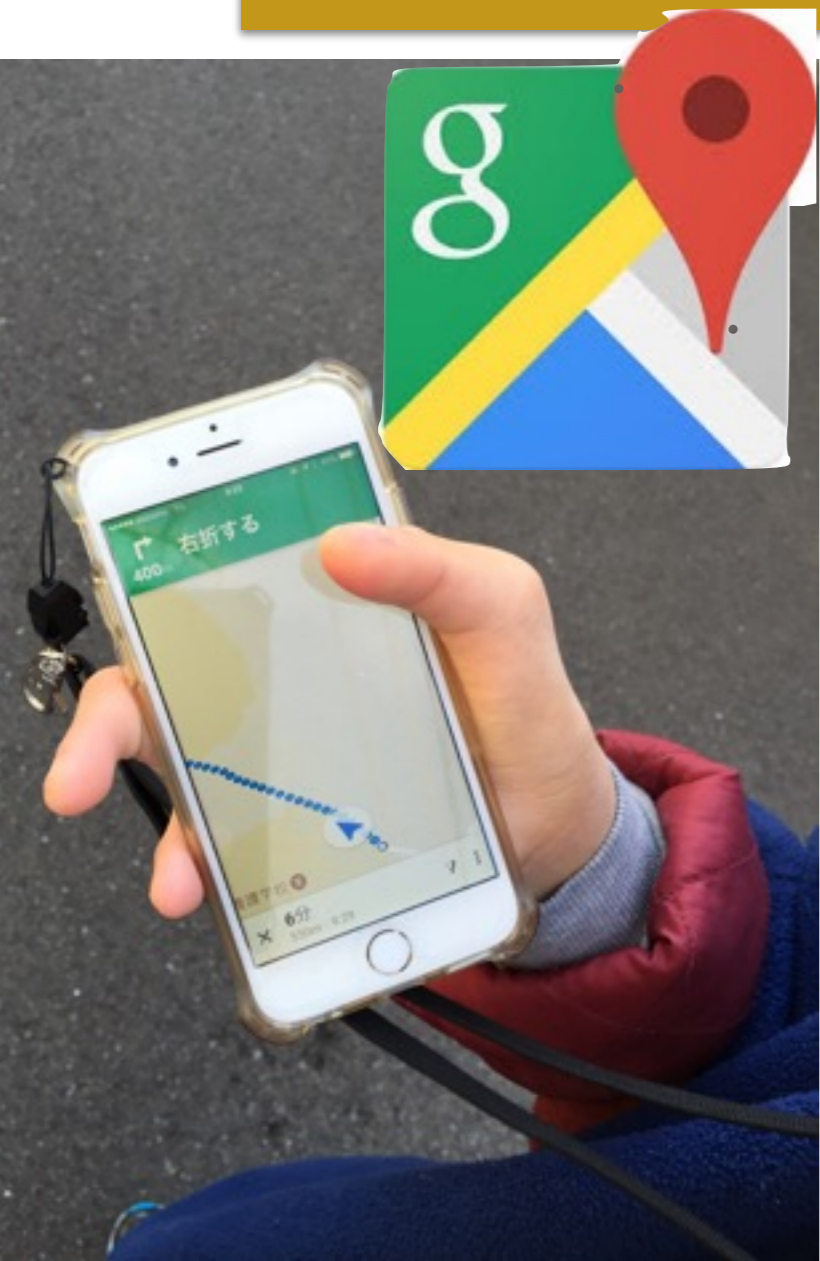


「ここ、いったことあるよ」

目的地までをタップして、繰り返し確認することで
行く場所をイメージしやすくなり安心に

②校外学習や行事の学習など、新たな場面での活動

校外学習当日に場所を確認するサポート



修学旅行では副校長先生を案内

あとどれくらいで着くかわかる



「GoogleMap」で音声や矢印で案内があることで、はじめての場所でも自信を持って歩くことができる

報告者の気づき

日常のスケジュール帳として



いつでも、どこでも、一人で簡単に確認できる手段を持つことで自主的な活動に

新たな場面でのガイド、ナビゲーション



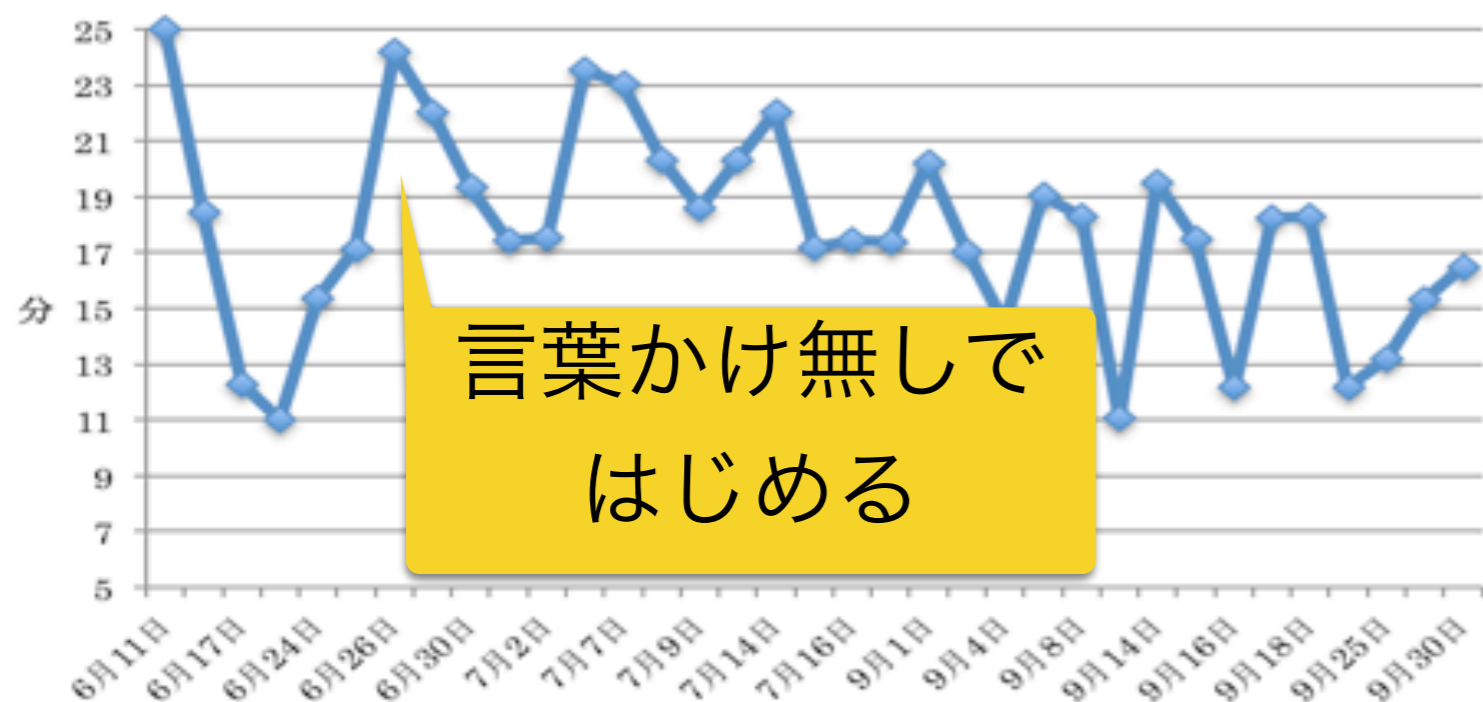
写真やイラストで事前に確認できる、画面や音声で確認できる手段を持つことで安心感に繋がりに、意欲的な活動に

Sさんの変化

係活動の時間の変化

項目の見直し

表1 係活動に要した時間



言葉かけ無しで
はじめる

表2 係活動に要した時間 (項目変更後)



表1 (6月~9月) のように時間短縮に繋がった。
表2 3学期に項目の見直しを行った後も (1月26日~) も一旦、要する時間が増加したがその後、時間短縮した。

Sさんの変化

発言・行動の変化

否定的・依存的な発言・行動の減少

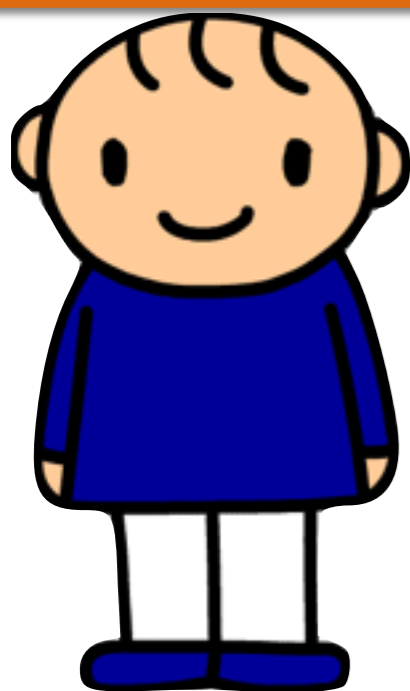
「わからん」「お願い～してよ」「もう、教えてよ」「怖いよ」等の発言が少なくなった。

肯定的・自主的な発言・行動の増加

「できました」「もう終わったよ」「次は～があるよ」「わかったよ」「ありがとうございました」など自信のある発言が増える。

「他に予定はない?」「今日は(リハビリが)ありませんよ」「着きましたよ」と教えてくれる。

「先生、(職員室に) いていいよ」と自分一人で教室で朝の支度をすることも



タブレットを使えばわかる

いろいろな場面で確認に使える

見通しが持てる



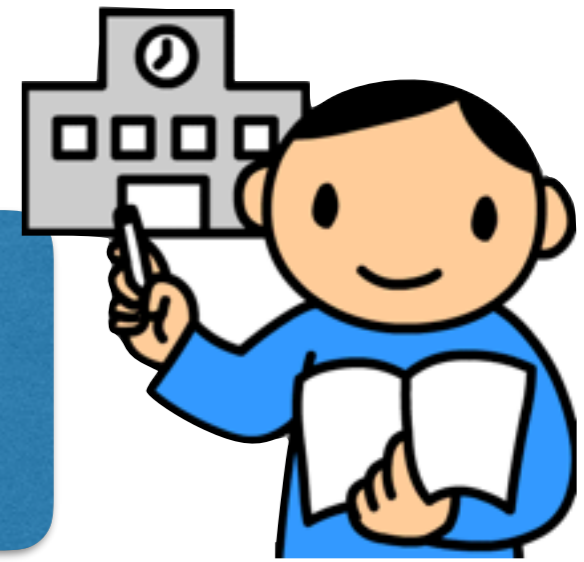
自分から
してみよう

一人で
してみよう

Sさんの変化の背景は、、、

文字を入力する・書き込む・写真
を撮影する・共有機能を使う
地図で確認する

教師の活用を
よく見ている



iPadってゲームや
Youtubu見るだけ
じゃないんだ
と気づく



自分にも使えるな、やってみよう

タブレットに有用感を感じる

継続した活用・新たな場面で活用

今年度の実践

「魔法の種プロジェクト」

児童の**してほしい**、**したい**が

「つたわる」 ように

～コミュニケーション手段の広がり～

Yさんについて

- ・ 小学部 2 年生 男児
- ・ 知的障がい 肢体不自由を併せ持つ
重度重複障害（精神運動発達遅滞）
- ・ 隣接するセンターに入所
- ・ 昨年度まではIV課程（自立活動を中心にした教育課程）



Yさんについて



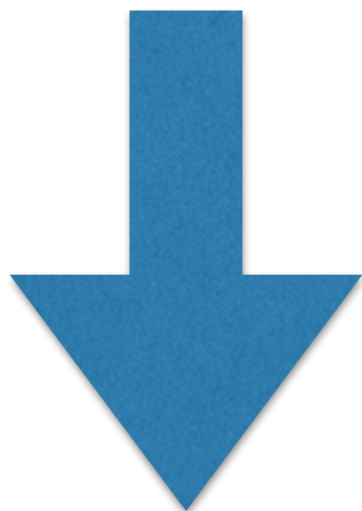
- ・ 移動は車椅子、昨年度から自立歩行できるようになってきつつある。
- ・ **有意味の発語はまだない**が、（立って、これ入りますか？、おいで）などはこちらの身振りでわかっていることもある。

コミュニケーションの傾向

何かをしてほしい、したい



表出がとても少ない

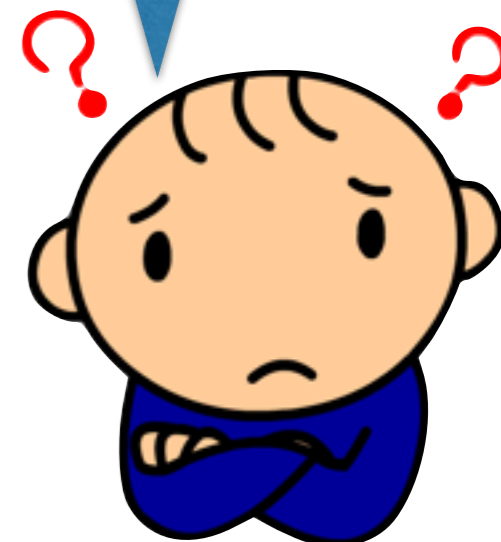


先生を
呼んでる??

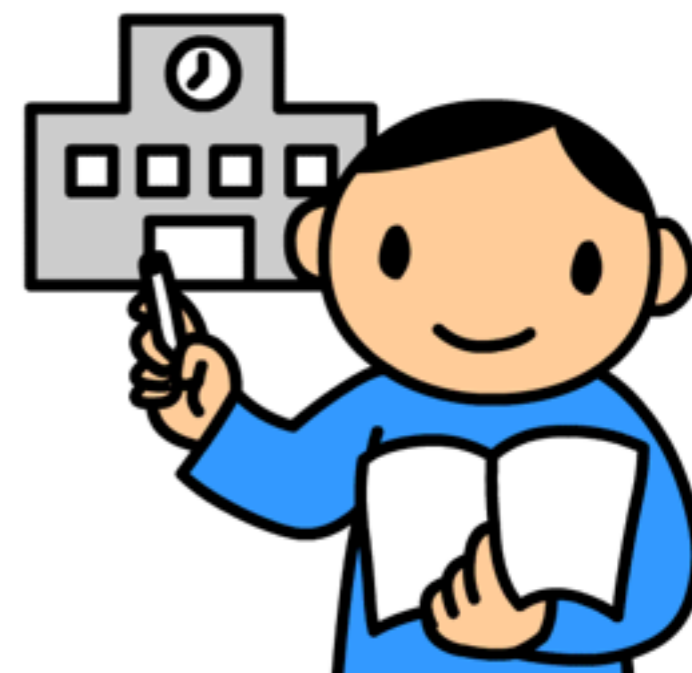
何かしたい??

先生が近くにいる時だけ

手を叩く、クレーンで伝える



Yさんのコミュニケーションの傾向を
把握する



どの場面で、だれに、どのようにして、
何を伝えようとしているのか
を記録にとった

活用のポイント

様々な場面でたくさん記録を取る上で、
筆記で記録すると間に合わない、



メモアプリで音声入力

動きながら、支援しながらでも
記録ができる！！

< 戻る

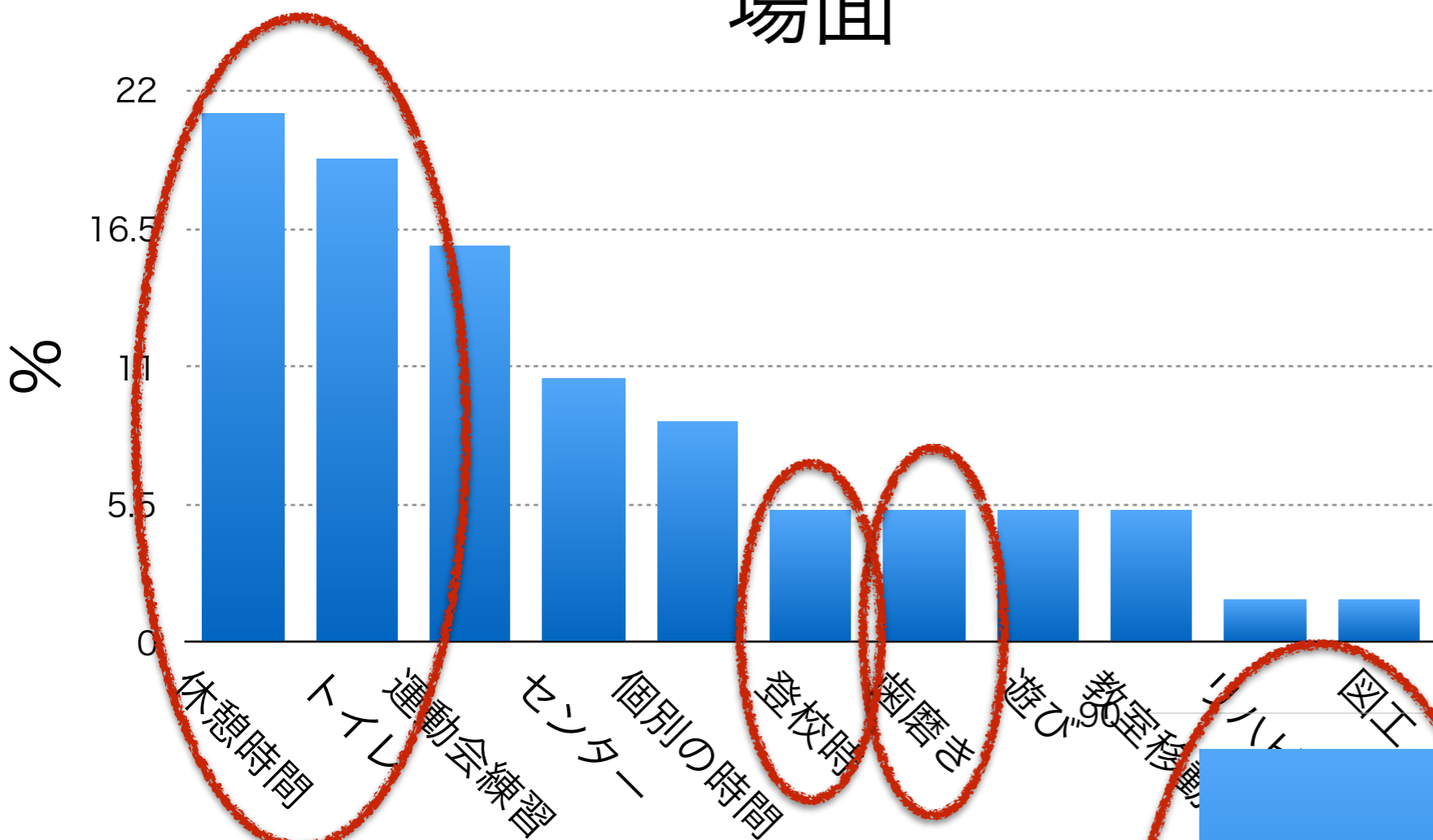
2016年5月26日 23:43

- センターで、車椅子に乗っている
近くに行くと
手を叩く
- 教室で、車椅子に乗っている
近くに行くと、手を叩く
- トイレで
便座に座っている
オシッコが出る
すぐに手を叩く
- 教室で
椅子に座っている
立ち上がり、手を叩く
教師が触っている機械が触りたいからか？
- 体育館で、運動会練習
手を叩く、立ち上がりたい
- 個別の時間
絵本が机の上に2つある
野菜の本を選ぶ
手を叩く、クレーン
読んで貰おうとする
- 本を開いて読む
手を叩く、クレーン

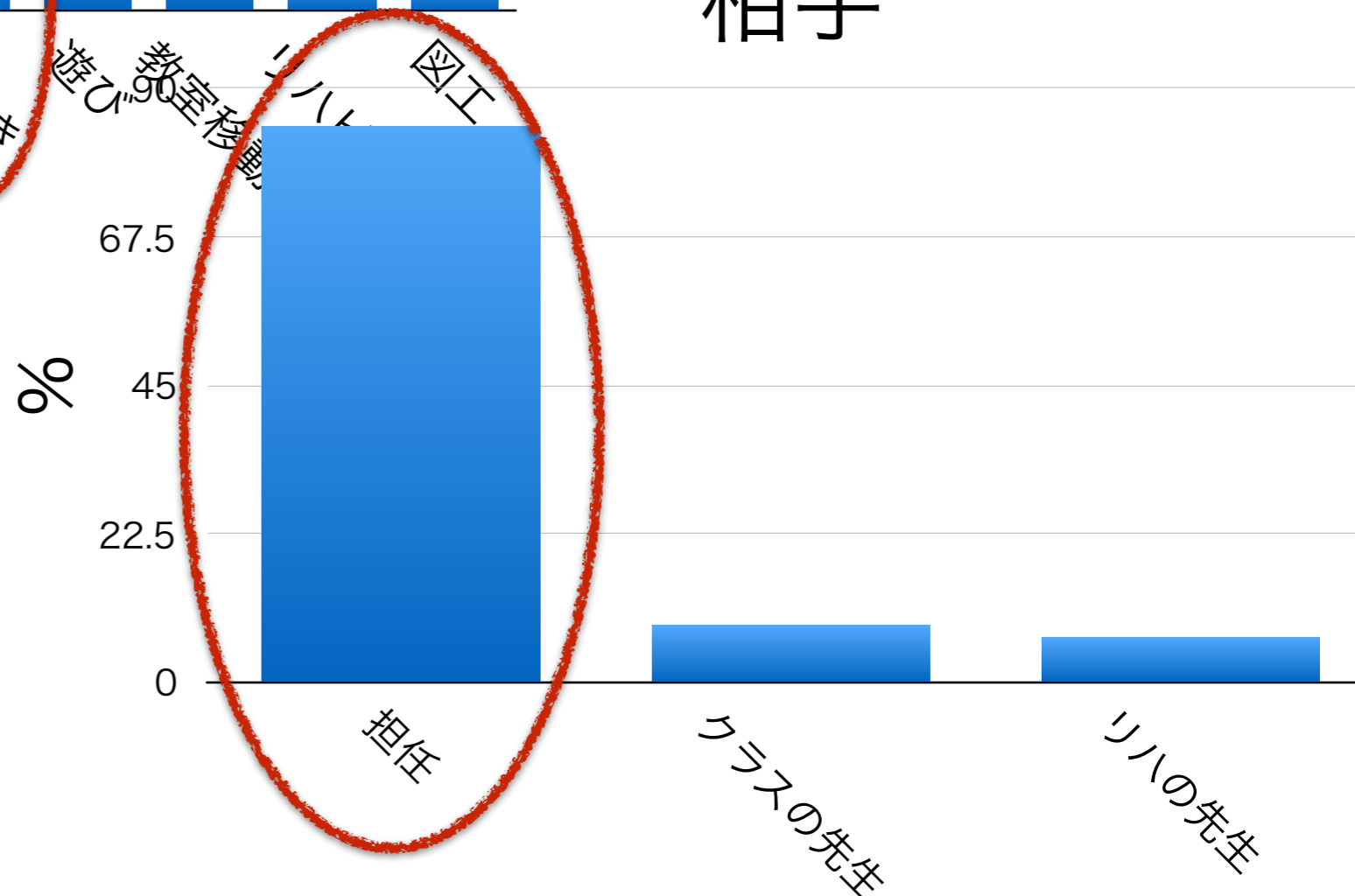
コミュニケーションの記録

期間：5月24日～27日

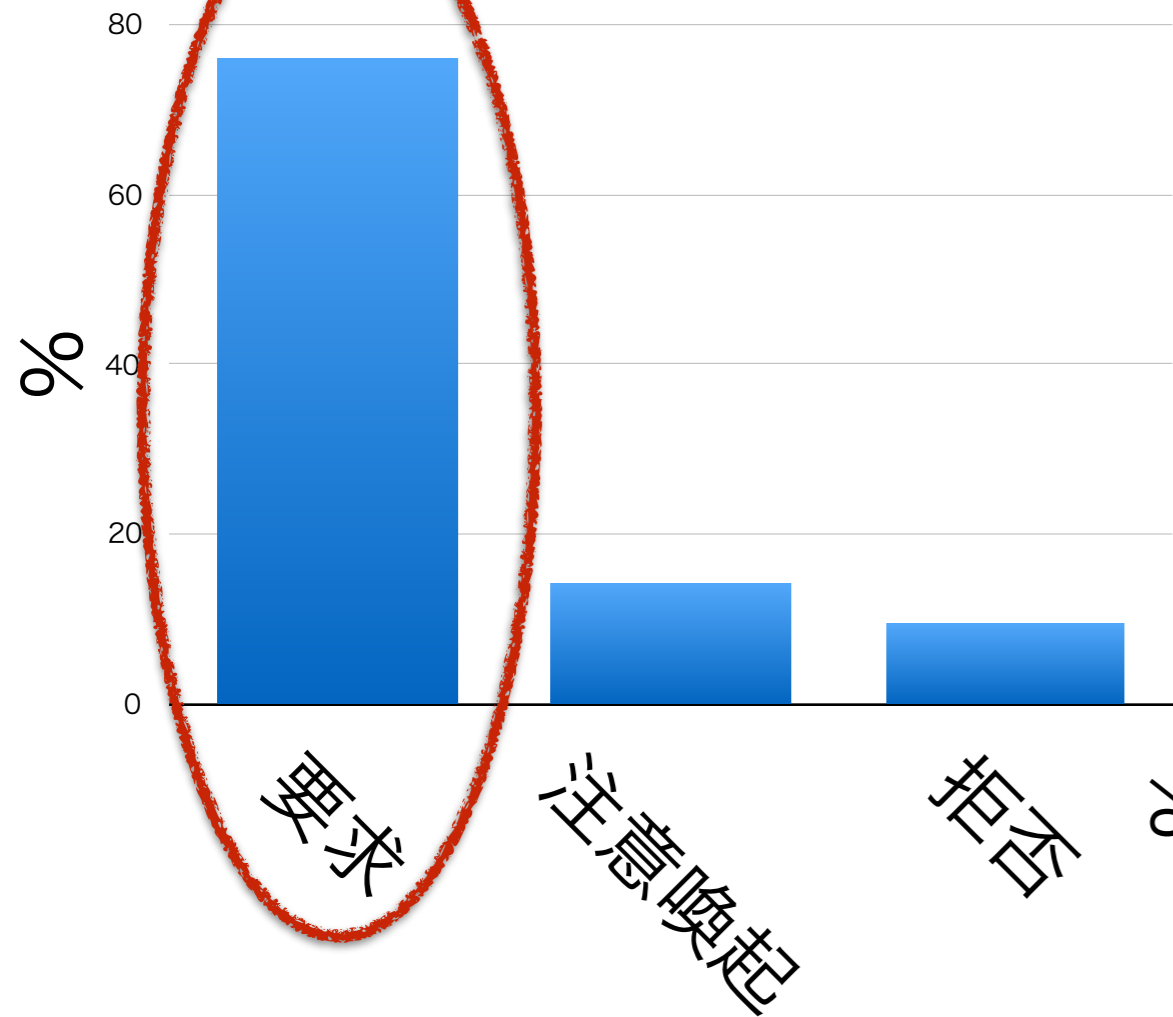
場面



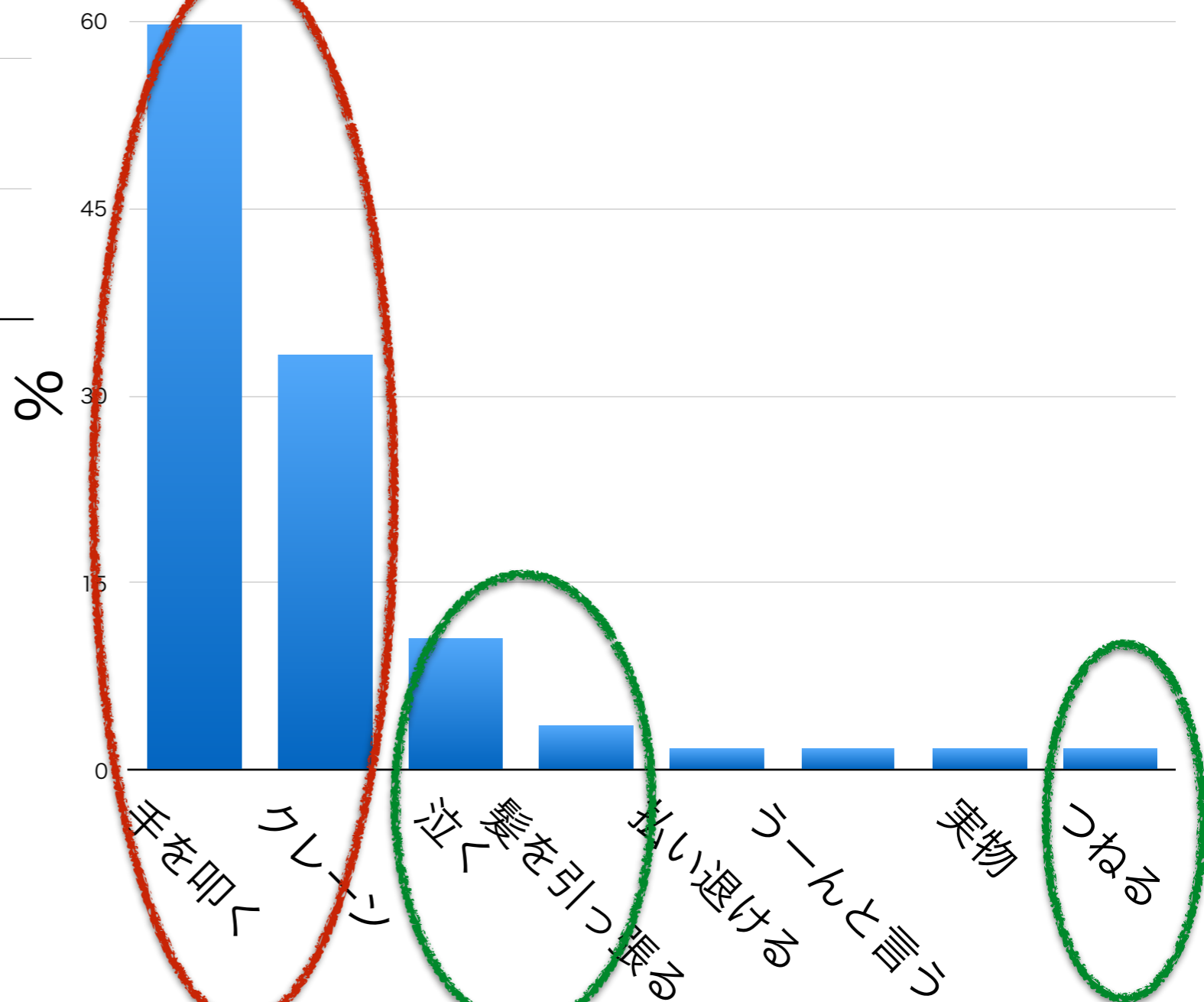
相手



機能



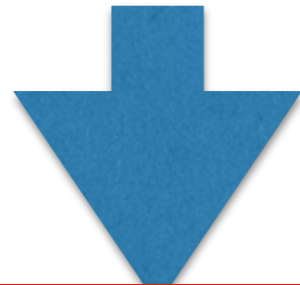
手段 (方法)



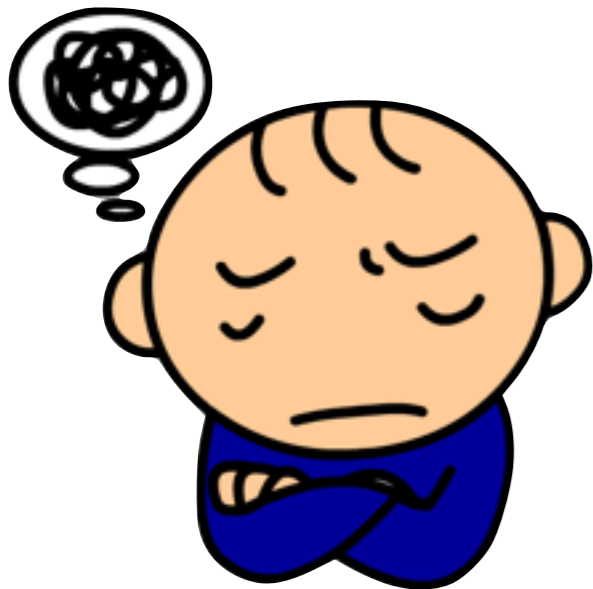
Yさんが難しいこと・困りは？

担任の先生にはは伝わることもあるけど

うまく伝わらない



声を出して泣いたり、相手を引っ掻いたりする



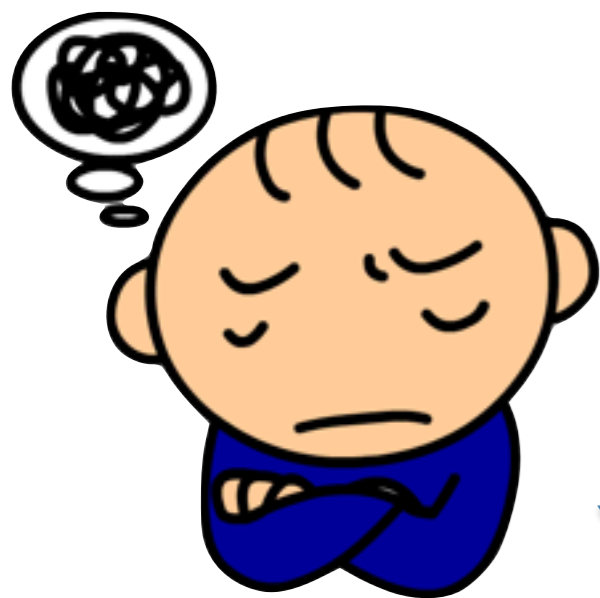
要求する行動が
あまり無い

そのままじっとしてあきらめる

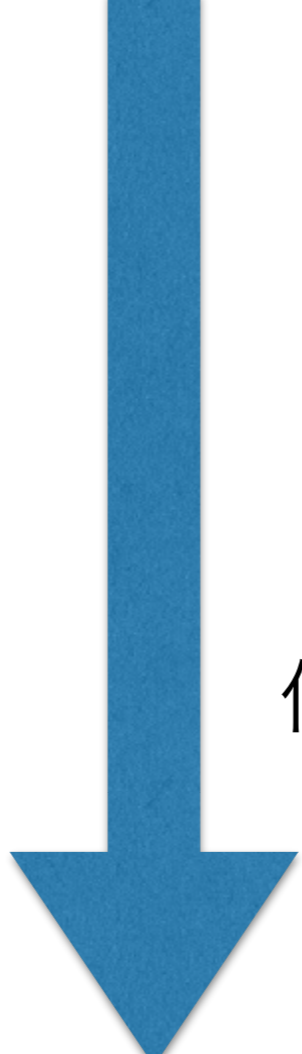
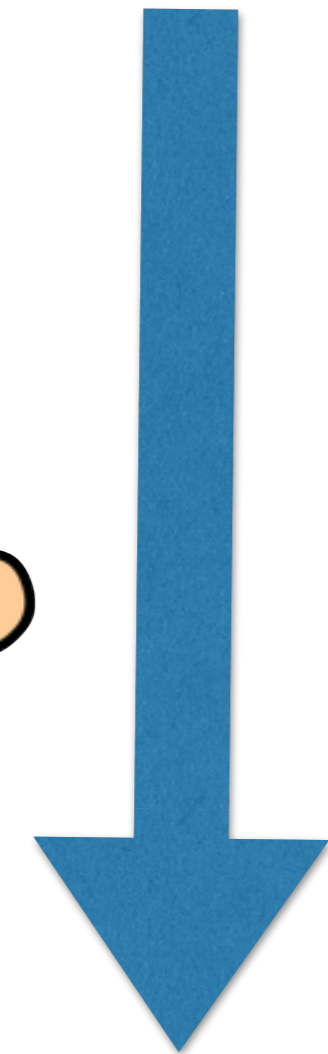
Yさんが難しいこと・困りは？

言葉で伝えられない

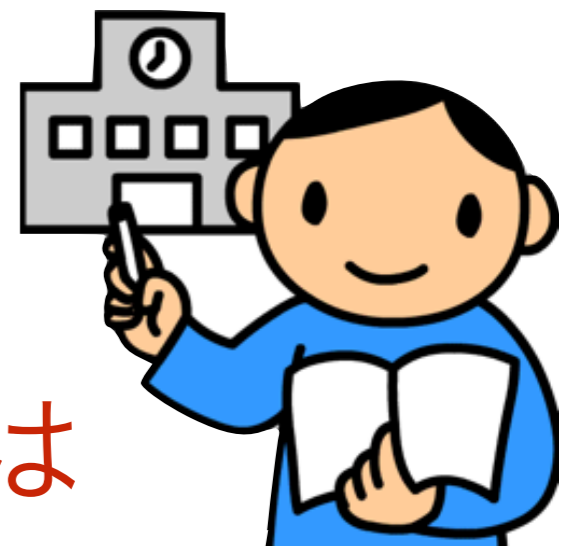
伝える状況が少ない



その結果

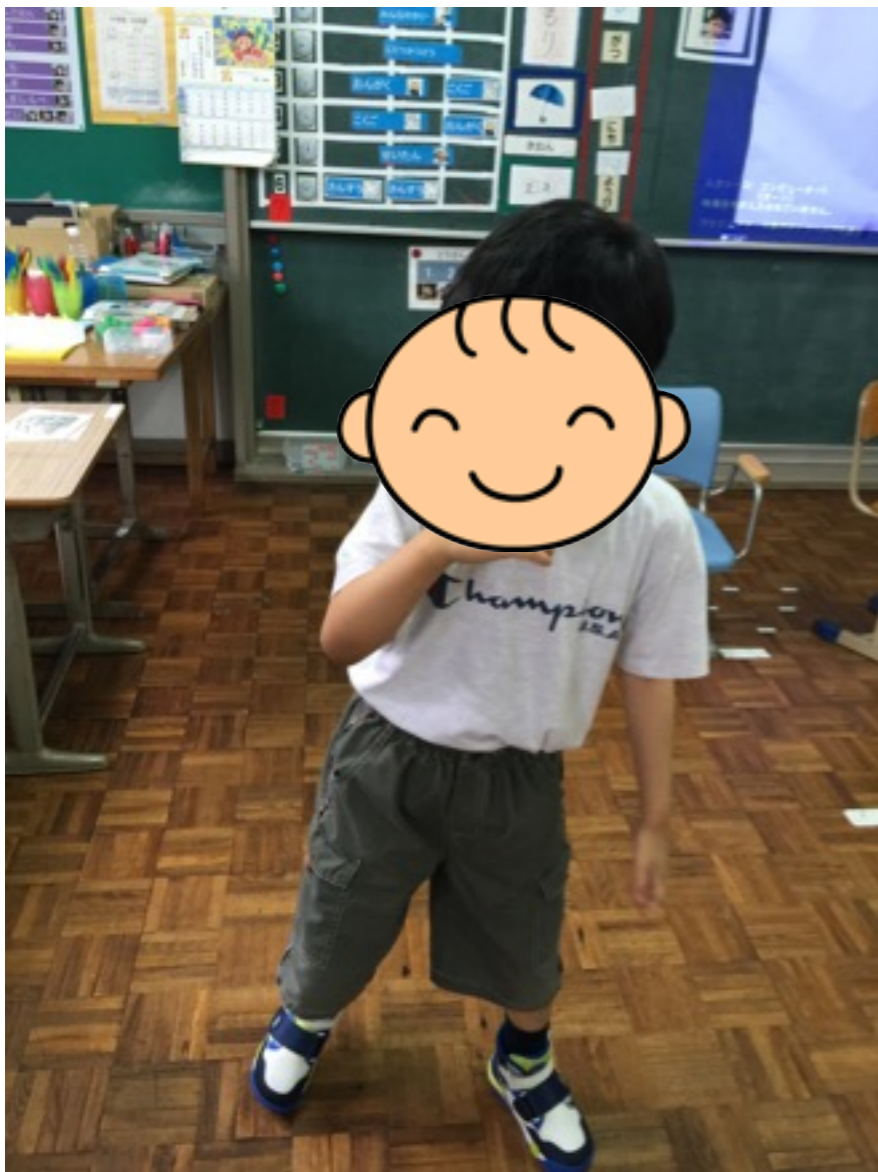


先生からは
してほしいことがわからない
何をして欲しいのかわかりにくい



したいことができない

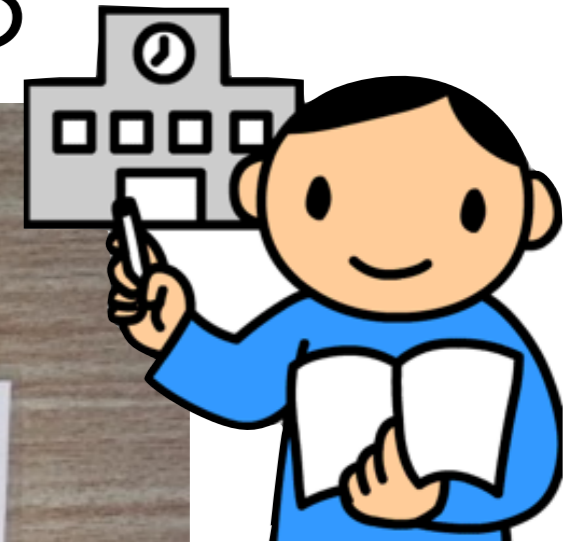
Yさんが好きなこと



- 歩き始めたので、歩きたい！
- 音楽が好きなので、キーボードで遊びたい！
- 絵本を読んでもらいたい！

伝える手段の広がり

手を叩く、クレーンで伝える



Yさんにも先生にもわかりやすい方法



写真カードの活用

活用のポイント

写真カード作成での活用



複製することで簡単に増やすことができる



写真をその場で撮影し、配置、文字を加える

「Keynote」を使って撮影したものをすぐに「写真カード」にして、PDFでプリントアウト

伝える手段の広がり

先生を呼ぶ

要求を伝える

今までは

手を叩く
ことも少ない

もう一度手を叩く

クレーン

伝わらない
ことも多い

これから

手を叩く

写真をタッチする

誰にでも
伝わりや
すい



実践の方向性

場面
(状況)

登校時など教室に来た時
やお昼の時間、休憩時間、
トイレに行く時間

Yさんが要求したい・
したくなるような
状況づくり

相手

担任の先生

機能

要求 (してほしい、
したい)

伝える手段

手を叩く
クレーン

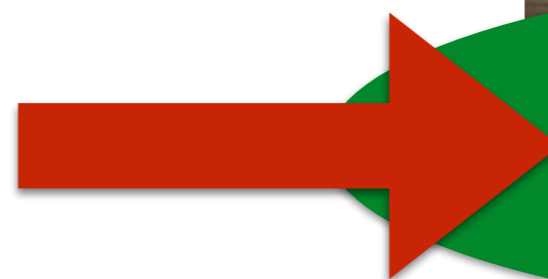


写真
カード



①状況づくり

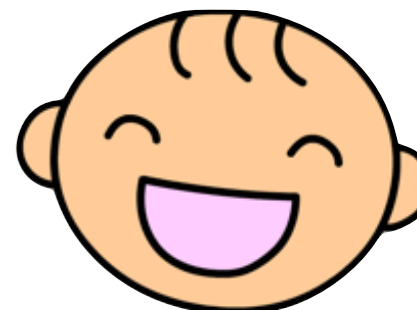
写真カードをタッチする



してほしいこと・したいことができる

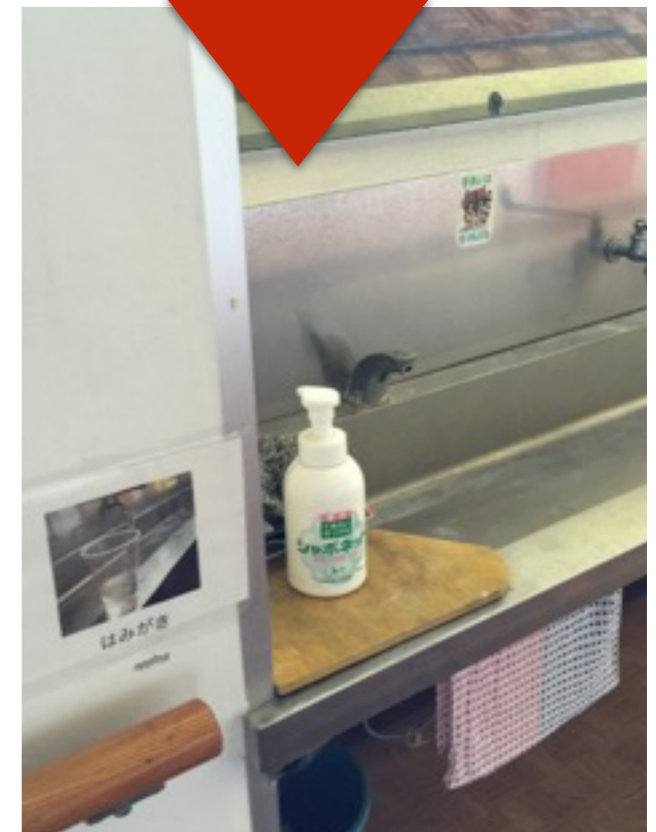
写真をタッチすると伝えることができるという因果関係

つたわった！！！！



①状況づくり

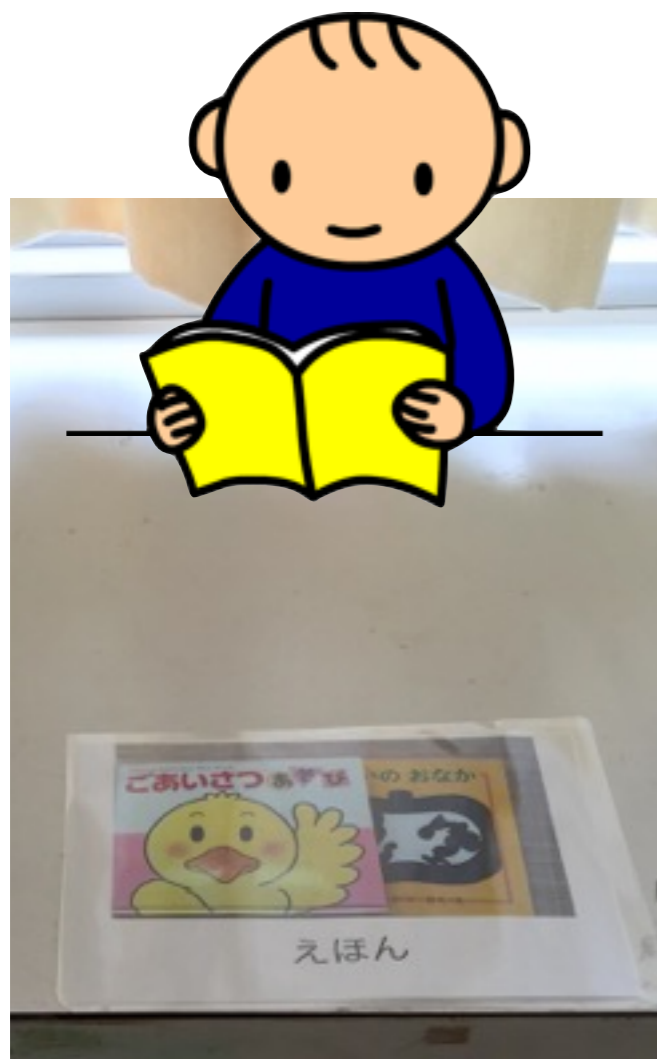
1つの場所で1つのことを



②場面を増やす

他の状況でも

写真カードをタッチする



してほしいこと・したいことができる

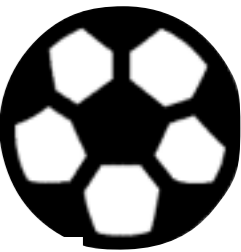
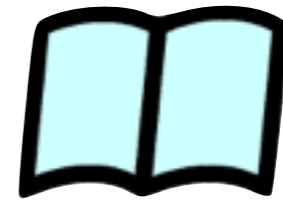
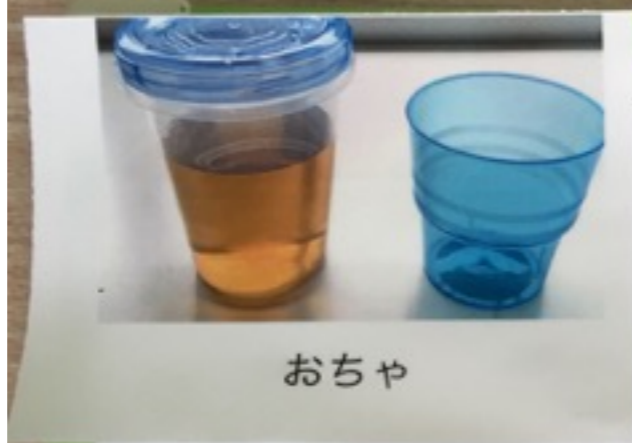
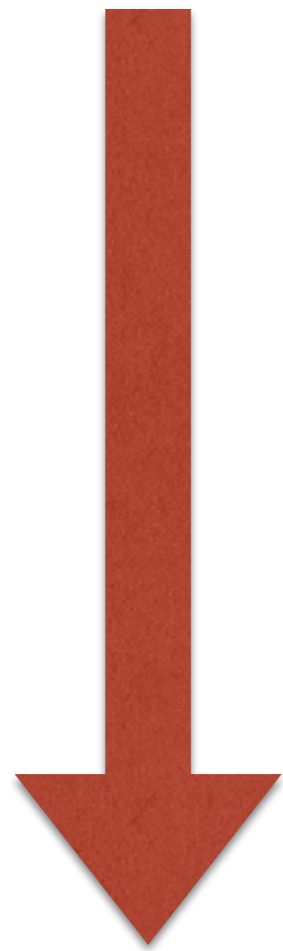
つたわった!!!



②場面を増やす

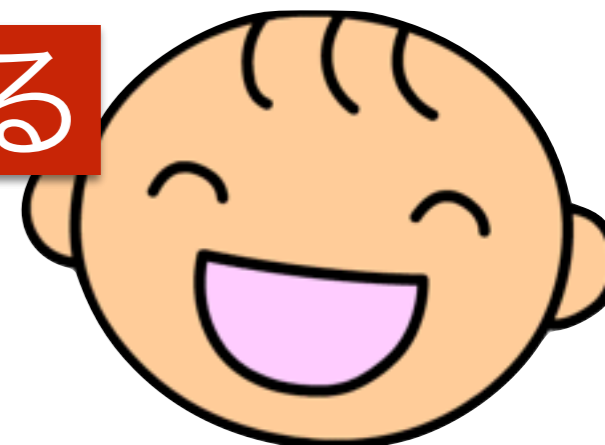
1つの場面で複数の写真から選ぶ

写真カードをタッチする

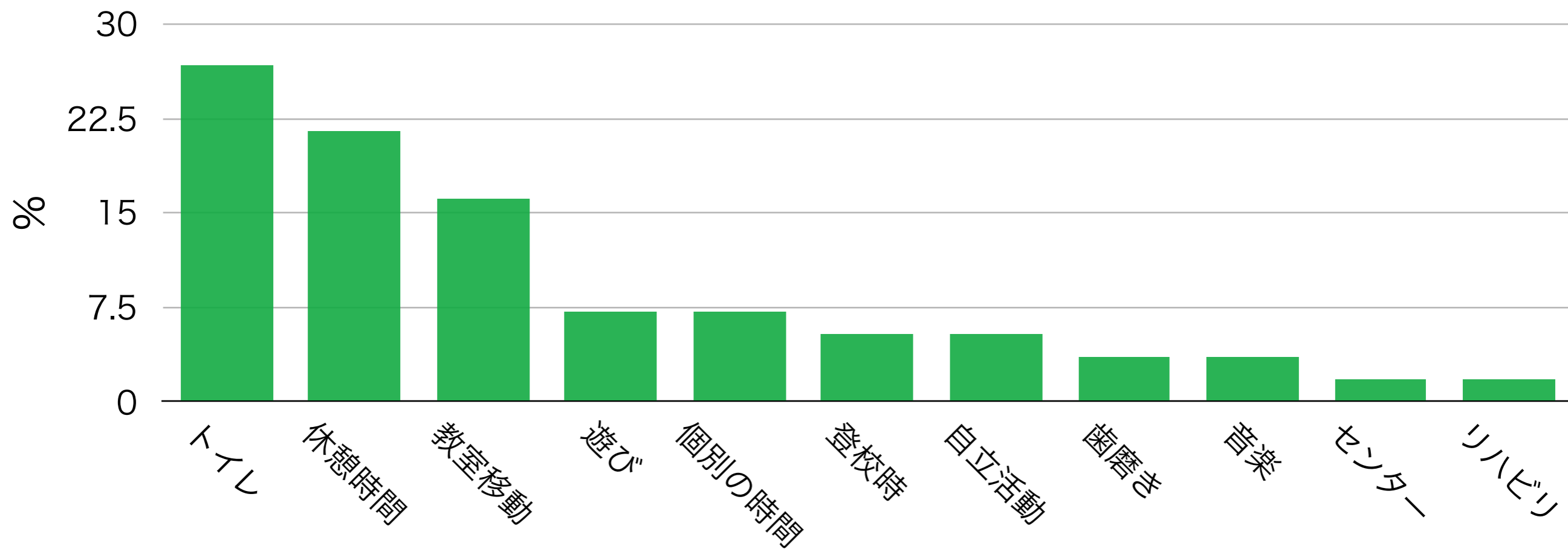


してほしいこと・したいことができる

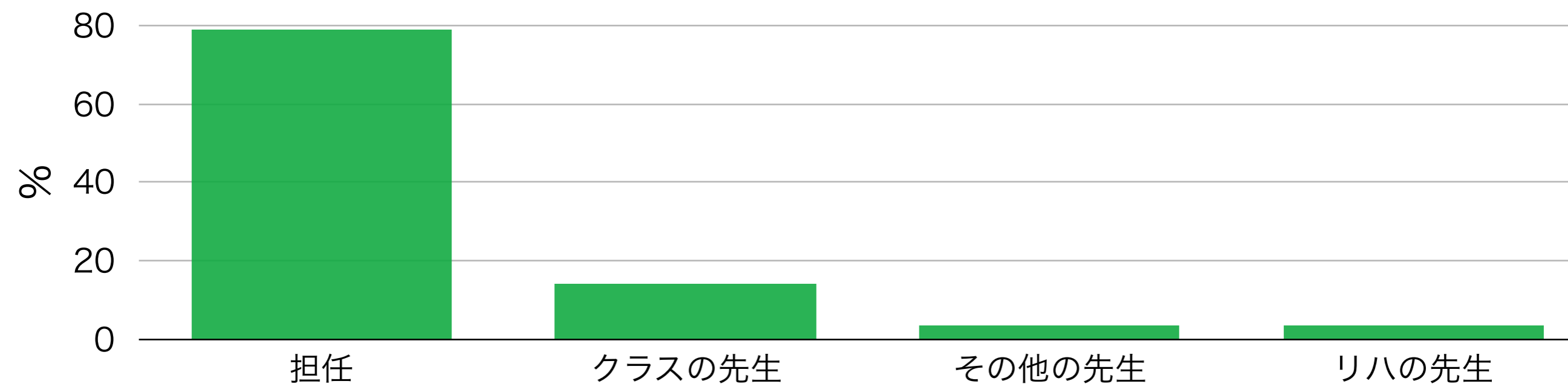
つたわった！！！！



場面



相手



コミュニケーションの変化

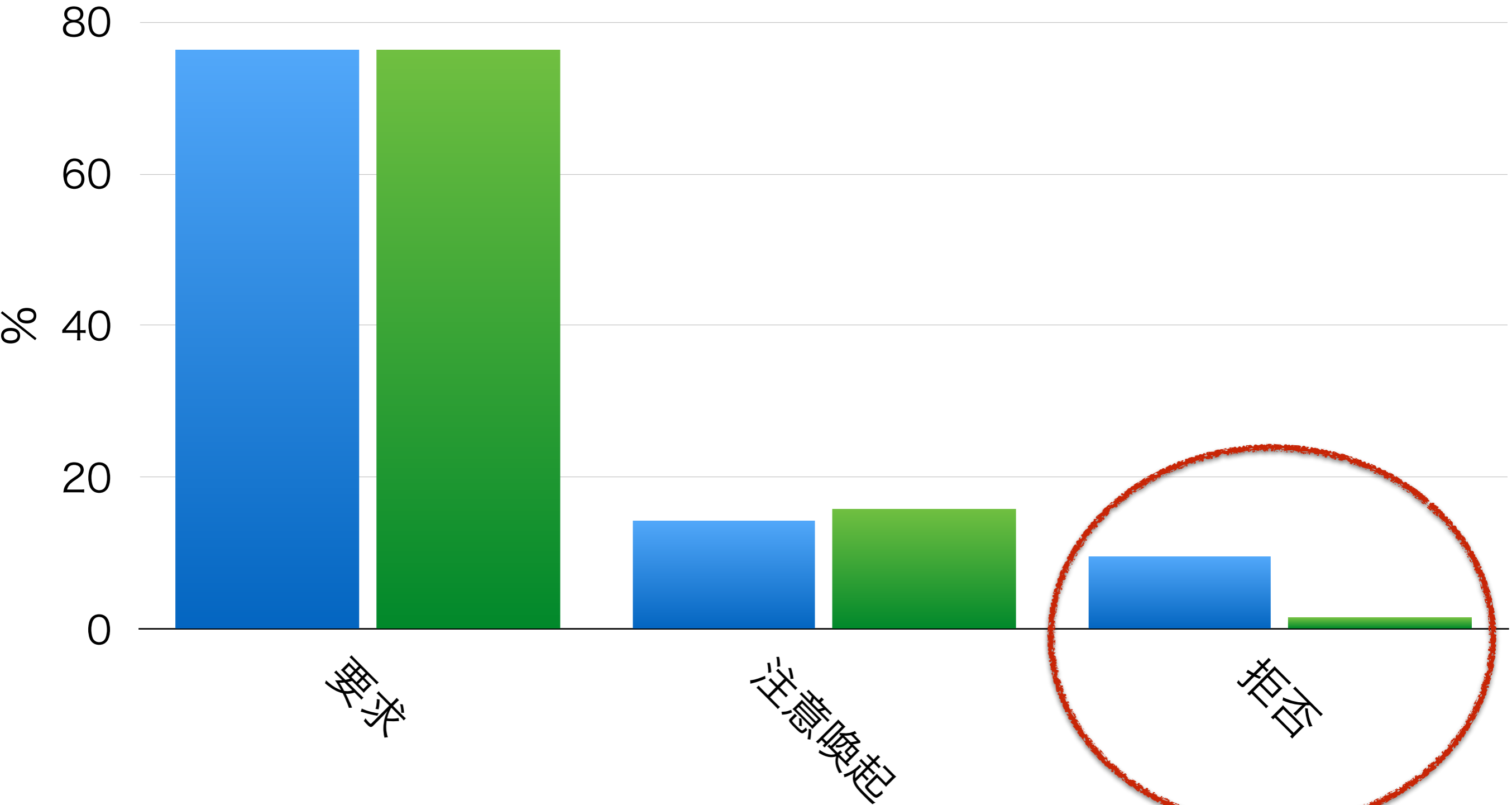


1回目



2回目

機能



コミュニケーションの変化

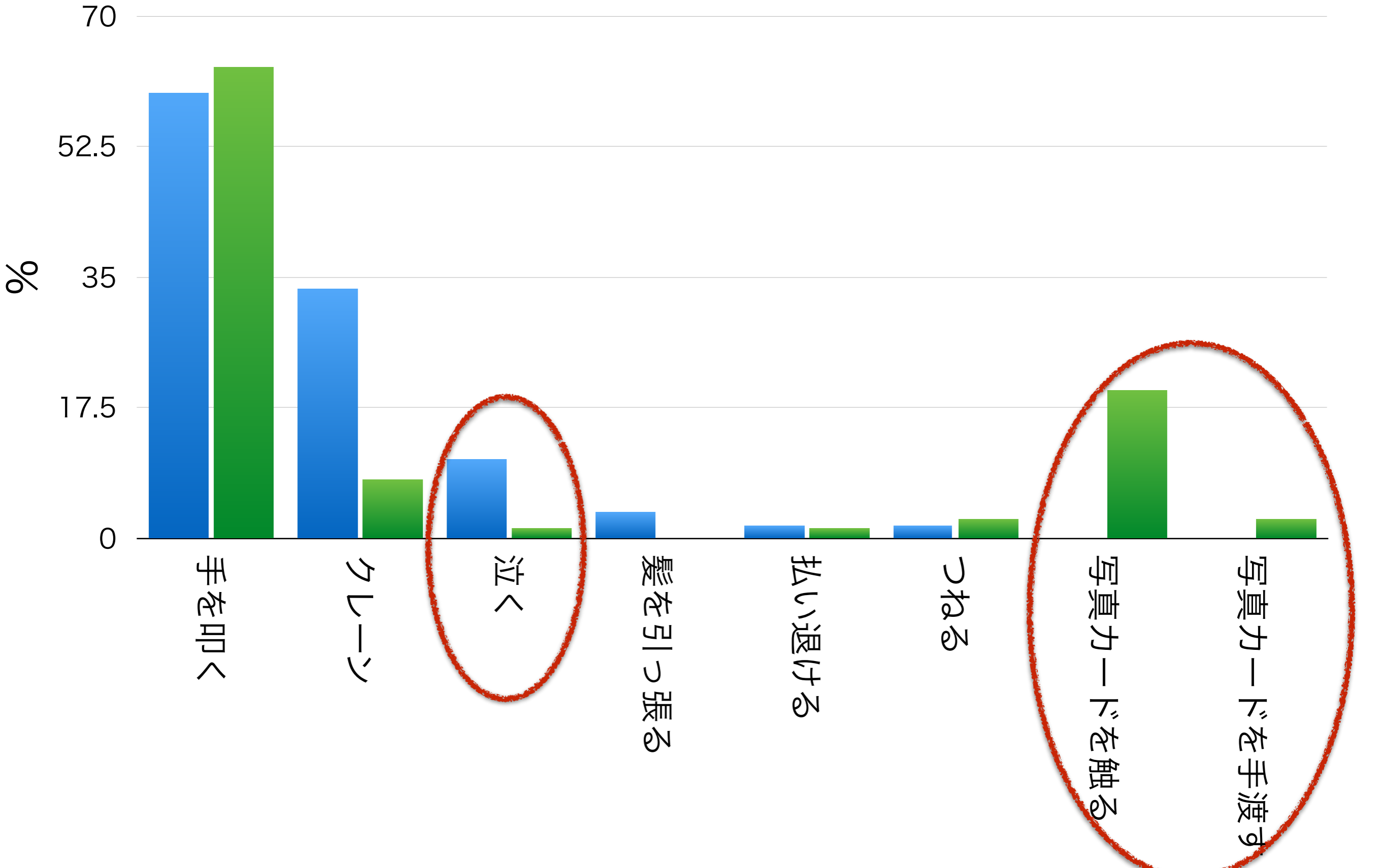


1回目



2回目

手段



写真カードを使えば伝わる

伝わるって
楽しいな

コミュニケーションできる



自分から
伝えたい

泣かなくてもいいよ

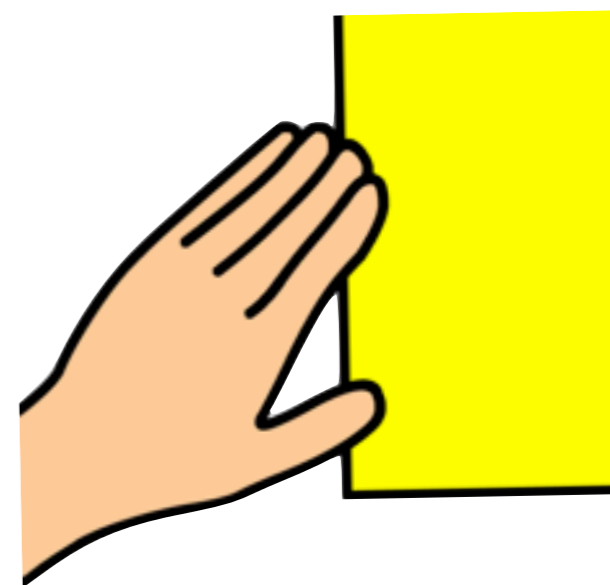
今後の実践

場面を増やす

選択肢を増やす

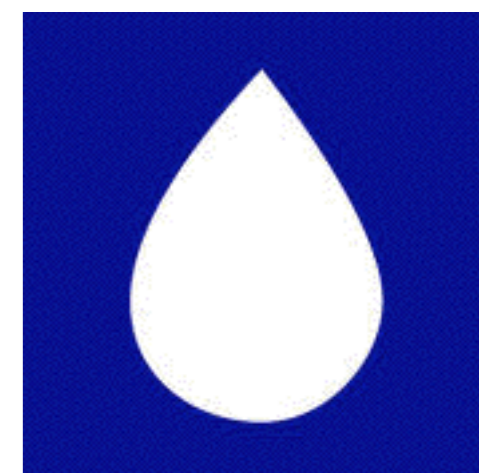
写真カード

- 写真カードが小さいと見にくい
- カードが増えてくるとかさばる
- 持ち運びにくい



VOCAアプリの活用

- 音声とモノのマッチング
- たくさんの写真カードが持ち運べる



今後の実践

VOCAアプリの活用

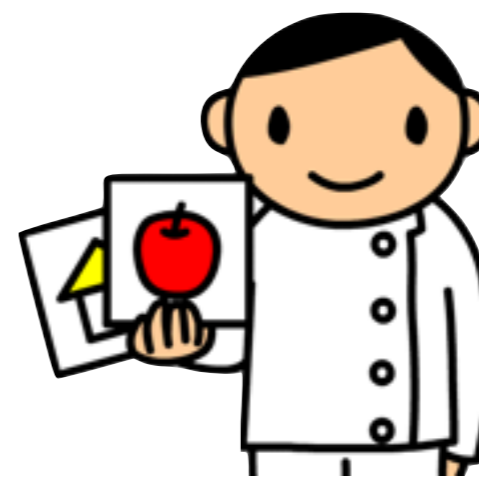
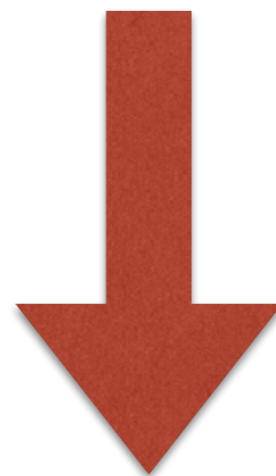
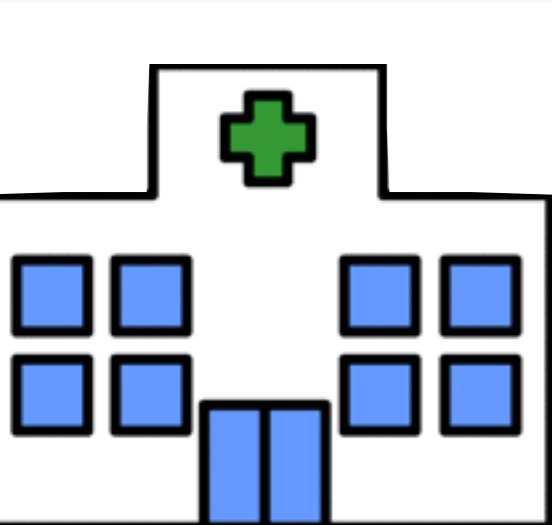


いろいろな場所で

いろいろな人に

- リハでしたいことを選ぶ
- 校外学習で食べたいものを選ぶ

- 家の人に
- 他の先生に



できた・伝わった・したい・伝えたい